

# 事業年報

令和6年4月～令和7年3月



## 事業年報 vol.39

2024年度（令和6年度）

鹿児島県赤十字血液センター

#### 表紙のロゴマークについて

400mL献血は、男性が年3回、女性が年2回まで採血することができます。

しかしながら、  
鹿児島県では、約65%の方が1回だけの献血にとどまっています。

輸血を受ける方の約85%は、50歳以上の方々です。

一方で、献血者の約60%は50歳未満の方々であり、  
この世代の方々が輸血医療を支えています、  
少子化により若い方々の献血協力者数は減少しています。

2023年6月1日より、ロゴマークを作製し、年間で複数回の献血への  
より一層のご協力をお願いしています。

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。



# ごあいさつ

血液事業は、国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液製剤の供給を使命としています。なお、同法においては、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県及び市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者等、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されています。また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」に基づき、輸血用血液製剤の品質や安全性の確保を行っています。

日本赤十字社では、血液事業の運営体制について血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、平成24年4月より全国を7ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始しました。それ以降、鹿児島県で献血された血液の検査と輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行っています。

献血血液の約半分は輸血用血液製剤として輸血に使用され、残りの約半分は血漿分画製剤という医薬品の原料となります。全国的にみると、輸血用血液製剤の需要としては2013年度以降、いずれも横ばいまたは漸減傾向がみられる一方で、血漿分画製剤の原料としての需要は、免疫グロブリン製剤の使用の拡大に伴い、大幅に増大しています。

鹿児島県では令和6年度の目標献血者数63,827人に対して、58,996人(対前年度比95.3%)の方々に献血のご協力をいただきました。本県では少子高齢化に加え新型コロナウイルス感染症の影響も受け、移動採血における一稼働あたりの献血者数減少が続いていましたが、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行後も、10代から40代までの献血者数は減少傾向となっています。

一方で同年度に、鹿児島県内の医療機関に供給された輸血用血液製剤は、200mL献血由来が479本、400mL献血由来が59,315本、成分献血由来が12,224本の合計72,018本、200mL換算すると230,652本(対前年度比99.0%)となりました。

鹿児島県赤十字血液センターでは、採血及び供給計画に基づく確実な業務推進を行うことで当血液センターに課せられた使命や責務を果たすとともに、徹底した業務効率化、各部門業務連携体制の再構築を行い、時代に合った働きやすい職場を目指します。また、離島を数多く有する血液センターとして、地域の医療機関にとって安心・安全な血液供給体制を築くための努力の継続に加えて、血液製剤発注システムの利用促進や血液製剤の定時配送体制の確立を進めてまいります。

令和7年5月

鹿児島県赤十字血液センター  
所長 竹原 哲彦

# 目 次

1. 血液事業の概要	1
2. 献血基準	3
3. 広域事業運営体制	4
4. 献血の状況	5
5. 供給の状況	6
6. 保健所別市町村別献血者数	7
7. 学校別献血者数	9
8. ライオンズクラブ別献血者数	10
9. ロータリークラブ別献血者数	10
10. 青年会議所別献血者数	10
11. 地域赤十字奉仕団体別献血者数	10
12. 献血の普及啓発	11
13. 血液事業『この1年』	15
14. 統計資料	
(1) 年度別・献血種別献血状況	17
(2) 年度別市町村別献血状況	18
(3) 年度別・年代別献血者の推移	19
(4) 市町村別献血推進協議会設立の状況	20
(5) 厚生労働大臣表彰状受賞団体	21
(6) 厚生労働大臣感謝状受賞団体及び個人	22
(7) 鹿児島県知事感謝状受賞団体及び個人	25
15. 血液センターの沿革	29
16. 施設の概要	36

# 1. 血液事業の概要

## なぜ赤十字が血液事業に

---

大正10年から赤十字は血液事業に着手、各国に血液センターが設立されました。

昭和23年、ストックホルムで開催された、各国赤十字社と政府が参加した第17回赤十字・赤新月国際会議で「各国赤十字社は、輸血中央機関の設立を自国政府と協力し、必要ならば赤十字が機関を組織する。血液を集めたり、供給することは、できるだけ無償が原則。」と決議されました。

昭和34年、アテネで開かれた赤十字社連盟理事会で「血液事業を営利目的ではなく、人道的業務として国民に普及を図る。」、昭和48年、テヘランで開かれた第22回赤十字・赤新月国際会議で「各国赤十字社と政府に、国民の幅広い自発的な参加に基づく血液事業の人道的な目的を達成する努力をするよう勧告する。」など血液事業の基本理念が相次いで決議されました。

## 日本の血液事業

---

日本では、昭和23年の輸血による梅毒感染事故を契機に、アメリカ赤十字社の援助を受け、昭和27年、日本赤十字社血液銀行が開設されました。

しかしながら、当時の輸血はその大部分が、民間製薬会社による売血に依存したものであり、頻回売血による供血者の健康問題及び輸血用血液の品質低下や輸血後肝炎の発症などの弊害が生じ「黄色い血液」として社会問題になりました。このため、政府によってわが国の血液事業のあり方についての検討がなされた結果、昭和39年8月21日の「献血の推進について」の閣議決定が行われ、国、地方公共団体及び日本赤十字社の三者を始めとする多くの関係者による献血推進の努力により、昭和49年の輸血用血液の献血による自給達成、平成6年の血液凝固因子製剤の国内自給の達成などの成果を挙げてきました。しかし、献血推進や国内自給の原則についての法的な位置付けがないことから、政府は従来 of 被採血者（献血者）の保護と採血業の規制を主眼とした「採血及び供血あっせん業取締法」を血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保、適正使用の推進、国民の保健衛生等の向上を目的とした内容に拡大し、名称も「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に変更して平成14年7月31日に公布、平成15年7月30日から施行しました。これにより、血液事業の基本理念と国、地方公共団体、日本赤十字社等、関係者の責務が明記されました。

# 血液法の概要

## 血液法制定の背景

- 献血推進や国内自給原則について、法的な位置付けがない。
- 国内自給達成に向けた進め方が明確でない。
- 血液製剤の使用について、一層の適正化が必要。
- 非加熱製剤によるHIV感染問題等を踏まえ、安全性の向上、安定供給の確保が必要。

### 献血の推進について (昭和39年8月21日閣議決定)

政府は、血液事業の現状にかんがみ、可及的すみやかに保存血液を献血によって確保する体制を確立するため、国及び地方公共団体による献血思想の普及と献血の組織化を図るとともに、日本赤十字社または地方公共団体による献血受入体制の整備を推進するものとする。

《従来法》  
「採血及び供血あっせん業取締法」

・被採血者の保護と採血業の規制が主眼  
(昭和31年制定以降、実質的改正なし)

## 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(通称:血液法) (平成15年7月30日施行)

### 法律の目的を拡大

- ・血液製剤の安全性の向上
- ・安定供給の確保
- ・適正使用の推進

国民の保健衛生の向上

### 基本理念の設定

- ①血液製剤の安全性の向上
- ②献血による国内自給の原則
- ③適正使用の推進
- ④血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上

### 関係者の責務の明確化

#### 【国】

- ・安全性向上・安定供給確保に関する基本的・総合的施策の策定・実施
- ・国内自給確保のための教育・啓発、適正使用に関する施策の策定・実施等

#### 【地方公共団体】

- ・献血に関する住民の理解、献血受入を円滑にするための措置

#### 【採血事業者】(日本赤十字社)

- ・献血受入の推進、安全性向上・安定供給確保への協力、献血者等の保護

#### 【製造・輸入業者等】(日本赤十字社 等)

- ・安全な血液製剤の安定的・適切な供給、安全性向上のための技術開発

#### 【医療関係者】

- ・適正な使用、安全性に関する情報収集・提供

## 2. 献血基準

採血の種類	全血採血		成分採血	
	200mL	400mL	血漿	血小板
1回採血量	200mL	400mL	600mL以下（循環血液量の12%以内）	
年齢	16～69歳	男性:17～69歳 女性:18～69歳	18～69歳	男性:18～69歳 女性:18～54歳
	ただし、65～69歳の方については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた方に限る。			
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上180mmHg未満			
最低血圧	50mmHg以上110mmHg未満			
脈拍	40回/分以上100回/分以下			
体温	37.5℃未満			
血色素量	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域*にある女性は11.5g/dL以上) *標準域 MCV: 81～100(fL) MCH: 26～35 (pg) MCHC: 31～36(%)	12.0g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/ $\mu$ L以上 60万/ $\mu$ L以下
採血間隔	[前回採血]			
	200mL全血	男女とも4週間後の同じ曜日から		
	400mL全血	男性は12週間後、 女性は16週間後の同じ曜日から	男女とも8週間後の同じ曜日から	
	血漿成分 血小板成分	男女とも2週間後の同じ曜日から なお、血小板成分採血では、血漿を含まない場合1週間後に血小板成分採血が可能。 ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間あける。		
年間*総採血量 (1年は52週として換算)	200mL・400mL全血を合わせて 男性 1,200mL以内 女性 800mL以内		—	—
年間*採血回数 (1年は52週として換算)	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して血漿成分献血と合計で24回以内	
共通事項	次の方からは採血しない。 ① 妊娠していると認められる方、又は過去6ヵ月以内に妊娠していたと認められる方 ② 採血により悪化するおそれのある循環系疾患、血液疾患その他の疾患に罹っていると認められる方 ③ 有熱者その他健康状態が不良であると認められる方			

※ 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

### 3. 広域事業運営体制

日本赤十字社では、平成24年4月から都道府県単位の運営体制を全国7ブロック単位での広域事業運営体制に変更しました。

鹿児島県で採血した献血血液は、九州ブロック血液センター(福岡県久留米市)に届けられ、検査・製造の過程を経て、主に九州各県の医療機関に届けられています。

献血血液は、1日に2回、専用トラックで九州ブロック血液センターに運ばれています。採血してから定められた時間までに検査・製造過程に入る必要があるため、`輸送経路の確保、はとも重要です。

血液製剤も同様に、鹿児島県の血液センターと九州ブロック血液センター、医療機関までの輸送経路を確保しなくては患者さんのもとに血液を届けることはできません。

鹿児島県では、専用トラックでの輸送(高速道路)や航空機、新幹線等を使って、九州ブロック血液センターと献血血液・血液製剤の輸送を行っています。



## 4. 献血の状況

令和6年度は、献血受付を行った65,751人のうち、58,996人の方から採血を行いました。総献血者数は、令和5年度比で95.3%となり、2,938名減少しました。献血率とは、「鹿児島県内に在住する献血可能年齢人口(16~69歳)のうち、献血者数が占める割合」を表した数値で、令和6年度の鹿児島県の献血率は6.7%でした。

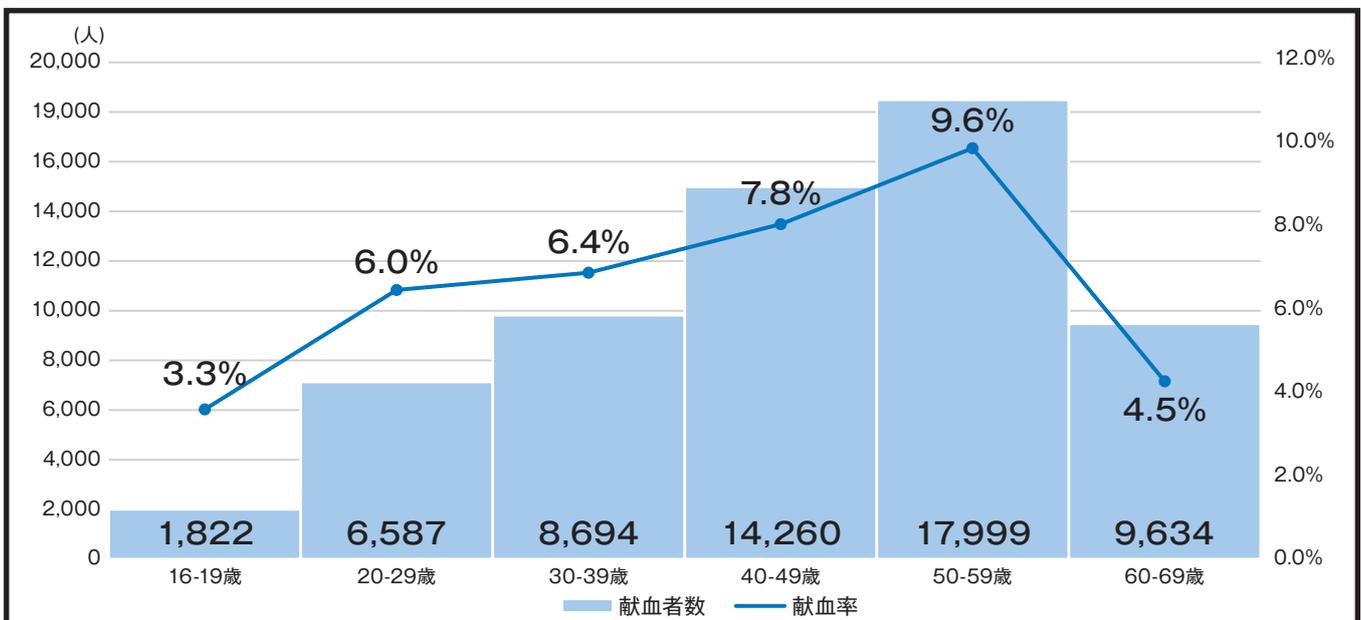
### 献血状況の概要

献血可能年齢人口※	献血受付数	献血総数
885,445人	65,751人	58,996人
献血率	不採血率	初回献血者数
6.7% 献血可能年齢人口に占める 献血者の割合	10.3% 献血受付した方の中で 献血できなかった方の割合	2,999人

※献血可能年齢人口は、令和6年10月1日時点の献血可能年齢(16-69歳)を記載 鹿児島県企画部統計課資料

### 年代別献血者数

令和6年度の献血者数を年代別に比較すると、下図のようになります。献血者数のうち、40代・50代で全体の54.7%を占めており、特に50代では、鹿児島県在住の50代の約10人に1人は献血にご協力いただいているという結果となっています。



### 施設別献血種別献血者数

(単位:人)

	採血種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
		献血プラザ かもいけ クロス	200mL	2	2	5	6	13	7	6	3	1	4	6	4
	400mL	481	549	600	466	546	592	563	532	472	593	473	506	6,373	102.4%
	成分	642	616	676	646	674	726	656	696	642	652	535	665	7,826	90.9%
	合計	1,125	1,167	1,281	1,118	1,233	1,325	1,225	1,231	1,115	1,249	1,014	1,175	14,258	95.7%
献血ルーム 天文館	200mL	16	13	17	30	55	24	19	24	18	17	11	31	275	145.5%
	400mL	575	551	545	446	516	510	546	455	434	569	464	497	6,108	110.4%
	成分	594	583	634	618	641	726	616	571	569	647	549	624	7,372	101.9%
	合計	1,185	1,147	1,196	1,094	1,212	1,260	1,181	1,050	1,021	1,233	1,024	1,152	13,755	106.2%
献血バス	200mL	15	12	19	20	8	19	12	19	21	7	19	6	177	182.5%
	400mL	2,752	2,627	2,491	2,494	2,175	2,812	2,767	2,619	2,640	2,374	2,547	2,508	30,806	90.7%
	合計	2,767	2,639	2,510	2,514	2,183	2,831	2,779	2,638	2,661	2,381	2,566	2,514	30,983	90.9%
合計	200mL	33	27	41	56	76	50	37	46	40	28	36	41	511	148.5%
	400mL	3,808	3,727	3,636	3,406	3,237	3,914	3,876	3,606	3,546	3,536	3,484	3,511	43,287	94.6%
	成分	1,236	1,199	1,310	1,264	1,315	1,452	1,272	1,267	1,211	1,299	1,084	1,289	15,198	95.9%
	合計	5,077	4,953	4,987	4,726	4,628	5,416	5,185	4,919	4,797	4,863	4,604	4,841	58,996	95.3%

## 5. 供給の状況

輸血用血液製剤を医療機関に届けることを「供給」といいます。

本統計は、当血液センター、鹿屋出張所及び川内出張所の3施設から、医療機関に供給された合計本数をまとめております。鹿屋出張所は、宮崎県串間市の医療機関への供給も行っていることから、鹿児島県の医療機関への供給数とは異なっております。

(単位:本)

	2024年度						単位換算(参考)		
	200mL	400mL	成分	計	単位換算	対前年度比	2023年度	2022年度	2021年度
全血製剤	0	0	0	0	0		0	0	0
赤血球製剤	398	49,495		49,893	99,388	102.0%	97,461	99,337	97,050
血漿製剤	81	9,820	1,747	11,648	26,709	100.0%	26,721	27,389	27,322
血小板製剤			10,477	10,477	104,555	96.0%	108,875	108,545	106,698
合計	479	59,315	12,224	72,018	230,652	99.0%	233,057	235,271	231,070

### 輸血用血液製剤のご紹介

#### 赤血球製剤

- 保存温度  
2~6℃
- 有効期間  
採血後28日間



出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。

#### 血漿製剤

- 保存温度  
-20℃以下
- 有効期間  
採血後1年間



複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。

#### 血小板製剤

- 保存温度  
20~24℃
- 有効期間  
採血後4日間  
※令和7年度内に採血後6日間に  
変更予定
- 要振とう



血小板の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。

#### 全血製剤

- 保存温度  
2~6℃
- 有効期間  
採血後21日間



大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。

輸血用血液製剤には、「赤血球製剤」「血漿製剤」「血小板製剤」「全血製剤」があります。当初は採血されたままの血液、すなわちすべての成分を含んだ「全血製剤」の輸血が主流でしたが、現在では、患者さんが必要とする成分だけを輸血する「成分輸血」が主流となっています。「成分輸血」は、患者さんにとって不必要な成分が輸血されないため、循環器(心臓や腎臓など)の負担が軽減できます。医療機関への全供給数のうち、「赤血球製剤」「血漿製剤」「血小板製剤」でほぼ100%を占めています。

※日本赤十字社作成の「愛のかたち献血」から引用

## 6. 保健所別市町村別献血者数

(単位:人)

保健所	市町村	人口 (推計)	献 血 目 標				稼動数	献 血 者				達成率	献血率
			200mL	400mL	成 分	合 計		200mL	400mL	成 分	合 計		
鹿児島	鹿児島市	340,738	1	11,132		11,133	221.9	43	7,466		7,509	67.4%	2.2%
	計	340,738	1	11,132		11,133	221.9	43	7,466		7,509	67.4%	2.2%
指 宿	指宿市	19,879	1	777		778	19.0	2	677		679	87.3%	3.4%
	計	19,879	1	777		778	19.0	2	677		679	87.3%	3.4%
加世田	南さつま市	16,500	0	638		638	15.4	4	646		650	101.9%	3.9%
	枕崎市	10,087	0	357		357	8.6	0	346		346	96.9%	3.4%
	南九州市	16,755	1	770		771	19.0	0	796		796	103.2%	4.8%
	計	43,342	1	1,765		1,766	43.0	4	1,788		1,792	101.5%	4.1%
伊集院	いちき串木野市	14,859	0	519		519	11.0	0	491		491	94.6%	3.3%
	日置市	26,097	1	867		868	22.2	2	859		861	99.2%	3.3%
	計	40,956	1	1,386		1,387	33.2	2	1,350		1,352	97.5%	3.3%
川 薩	薩摩川内市	52,947	1	2,310		2,311	62.9	12	2,637		2,649	114.6%	5.0%
	さつま町	9,808	0	442		442	14.7	2	671		673	152.3%	6.9%
	計	62,755	1	2,752		2,753	77.6	14	3,308		3,322	120.7%	5.3%
出 水	出水市	29,072	1	809		810	21.2	8	962		970	119.8%	3.3%
	阿久根市	9,478	0	434		434	12.8	0	447		447	103.0%	4.7%
	長島町	4,896	0	125		125	3.0	0	145		145	116.0%	3.0%
	計	43,446	1	1,368		1,369	37.0	8	1,554		1,562	114.1%	3.6%
大 口	伊佐市	11,827	1	556		557	14.6	1	546		547	98.2%	4.6%
	計	11,827	1	556		557	14.6	1	546		547	98.2%	4.6%
始 良	霧島市	74,650	1	2,638		2,639	98.5	20	4,046		4,066	154.1%	5.4%
	始良市	45,206	0	1,429		1,429	42.8	5	1,796		1,801	126.0%	4.0%
	湧水町	4,459	0	158		158	4.0	1	148		149	94.3%	3.3%
	計	124,315	1	4,225		4,226	145.3	26	5,990		6,016	142.4%	4.8%
志布志	曾於市	16,600	1	598		599	14.0	0	515		515	86.0%	3.1%
	志布志市	15,393	0	550		550	15.8	2	485		487	88.5%	3.2%
	大崎町	6,452	0	141		141	4.5	2	168		170	120.6%	2.6%
	計	38,445	1	1,289		1,290	34.3	4	1,168		1,172	90.9%	3.0%
鹿 屋	鹿屋市	57,786	1	2,203		2,204	60.0	10	2,445		2,455	111.4%	4.2%
	垂水市	6,739	0	177		177	4.1	0	173		173	97.7%	2.6%
	肝付町	6,940	0	275		275	6.9	1	279		280	101.8%	4.0%
	東串良町	3,436	0	157		157	4.9	1	244		245	156.1%	7.1%
	錦江町	2,998	0	103		103	3.0	0	98		98	95.1%	3.3%
	南大隅町	2,806	0	83		83	3.0	0	134		134	161.4%	4.8%
	計	80,705	1	2,998		2,999	81.9	12	3,373		3,385	112.9%	4.2%

(単位:人)

保健所	市町村	人口 (推計)	献 血 目 標				稼動数	献 血 者				達成率	献血率
			200mL	400mL	成 分	合 計		200mL	400mL	成 分	合 計		
西之表	西之表市	7,878	1	395		396	6.0	1	408		409	103.3%	5.2%
	中種子町	3,785	0	142		142	2.0	1	151		152	107.0%	4.0%
	南種子町	2,901	0	90		90	2.0	0	104		104	115.6%	3.6%
	計	14,564	1	627		628	10.0	2	663		665	105.9%	4.6%
屋久島	屋久島町	6,321	1	213		214	3.3	0	193		193	90.2%	3.1%
	計	6,321	1	213		214	3.3	0	193		193	90.2%	3.1%
名 瀬	奄美市	23,157	1	544		545	12.1	2	833		835	153.2%	3.6%
	瀬戸内町	4,399	0	130		130	4.0	0	243		243	186.9%	5.5%
	龍郷町	3,338	0	80		80	1.0	0	63		63	78.8%	1.9%
	宇検村	789	0	25		25	0.0	0	0		0	0.0%	0.0%
	大和村	719	0	25		25	0.9	0	52		52	208.0%	7.2%
	計	32,402	1	804		805	18.0	2	1,191		1,193	148.2%	3.7%
徳之島	徳之島町	5,446	0	90		90	2.0	0	145		145	161.1%	2.7%
	天城町	2,856	1	55		56	1.4	0	72		72	128.6%	2.5%
	伊仙町	3,084	0	43		43	1.0	0	62		62	144.2%	2.0%
	計	11,386	1	188	0	189	4.4	0	279		279	147.6%	2.5%

献血バス計(一般)		14	30,080		30,094	743.5	120	29,546		29,666	98.6%	
献血バス計(学校)		41	1,920		1,961	43.5	57	1,260		1,317	67.2%	
血液センター		40	6,208	10,150	16,398	309.7	59	6,373	7,826	14,258	86.9%	
献血ルーム		60	6,226	9,088	15,374	309.6	275	6,108	7,372	13,755	89.5%	
総合計	871,081	155	44,434	19,238	63,827	1,406.3	511	43,287	15,198	58,996	92.4%	6.8%

※市町村ごとの学校目標設定はないため、保健所計に学校の実績を含まない。

※人口(推計)は、鹿児島県企画部統計課資料より

令和6年10月1日時点の献血可能年齢(16~69歳)を記載

## 7. 学校別献血者数

献血バスでの学校献血と、献血ルームでの高校生献血キャンペーンの協力者数は、2,047名でした。

	学校名	献血者数
高等学校	屋久島高等学校	15
	加治木工業高等学校	20
	志布志高等学校	12
	鹿児島水産高等学校	18
	鹿屋女子高等学校	19
	鹿児島高等学校	38
	鹿児島実業高等学校	29
	鹿児島情報高等学校	48
	樟南第二高等学校	29
	神村学園	46
	大口明光学園	29
	鳳凰高等学校	38
	鶴丸高等学校	38
	鹿児島玉龍高等学校	36
	武岡台高等学校	33
	甲南高等学校	19
	鹿児島中央高等学校	36
	鹿児島工業高等学校	18
	開陽高等学校	9
	樟南高等学校	3
クラーク記念国際高等学校	5	
鹿児島商業高等学校	6	
小計	544	
大学・短期大学	志学館大学	100
	鹿屋体育大学	12
	鹿児島県立短期大学	9
	鹿児島国際大学	175
	鹿児島女子短期大学	31
	鹿児島大学(医学部・水産学部含む)	590
	第一工科大学	79
	小計	996

	学校名	献血者数
専修学校	KCS鹿児島情報専門学校	98
	奄美看護福祉専門学校	26
	鹿児島キャリアデザイン専門学校	48
	鹿児島医療技術専門学校平川キャンパス	29
	鹿児島医療福祉専門学校	42
	鹿児島県美容専門学校	30
	鹿児島工学院専門学校	45
	小計	318
	その他の学校	鹿児島県立農業大学校
鹿児島県警察学校		58
宮之城高等技術専門校		44
始良高等技術専門校		27
鹿屋高等技術専門校		8
吹上高等技術専門校		9
小計		189

学生献血合計

**2,047人**

## 8. ライオンズクラブ別献血者数

団体名	献血者数
鹿児島市内合同ライオンズクラブ	48
鹿児島ライオンズクラブ	307
鹿児島中央ライオンズクラブ	108
種子島ライオンズクラブ	138
鹿児島城山ライオンズクラブ	648
鹿児島黎明ライオンズクラブ	108
Kagoshima Youth Lions Club	103
鹿児島南洲ライオンズクラブ	131
鹿児島谷山・南ライオンズクラブ	43
鹿児島谷山ライオンズクラブ	41
鹿児島第一ライオンズクラブ	43
鹿児島甲陵ライオンズクラブ	27
加世田ライオンズクラブ	225
川辺ライオンズクラブ	167
吹上ライオンズクラブ	57
串木野ライオンズクラブ	245
宮之城ライオンズクラブ	75
川内ライオンズクラブ	101
さつま川内未来ライオンズクラブ	113
川内なでしこライオンズクラブ	39
出水ライオンズクラブ	69
阿久根ライオンズクラブ	461
伊佐ライオンズクラブ	55
長島ライオンズクラブ	145
国分隼人ライオンズクラブ	186
霧島ライオンズクラブ	66
きりしまシニアライオンズクラブ	54
霧島みらいライオンズクラブ	126
末吉ライオンズクラブ	59
志布志ライオンズクラブ	100
指宿ライオンズクラブ	44
鹿屋ライオンズクラブ	112
鹿屋第一ライオンズクラブ	122
瀬戸内ライオンズクラブ	146
徳之島ライオンズクラブ	308
奄美大島ライオンズクラブ	689
合計	5,509

## 9. ロータリークラブ別献血者数

団体名	献血者数
きもつきロータリークラブ	57
始良ロータリークラブ	43
伊集院ロータリークラブ	42
穎娃ロータリークラブ	42
奄美ロータリークラブ・奄美中央ロータリークラブ	554
奄美瀬戸内ロータリークラブ	146
加治木ロータリークラブ	50
加世田ロータリークラブ	99
宮之城ロータリークラブ	82
串良ロータリークラブ	32
国分ロータリークラブ	83
国分中央ロータリークラブ	83
薩摩川内ロータリークラブ	58
鹿屋ロータリークラブ	57
鹿児島東南ロータリークラブ	59
出水ロータリークラブ	87
川内ロータリークラブ	141
大口ロータリークラブ	55
合計	1,770

## 10. 青年会議所別献血者数

団体名	献血者数
指宿青年会議所	16
屋久島青年会議所	77
新大隅青年会議所	47
川内青年会議所	113
枕崎青年会議所	206
合計	459

## 11. 地域赤十字奉仕団別献血者数

団体名	献血者数
いちき串木野市赤十字奉仕団	47
屋久島町赤十字奉仕団	57
薩摩川内市川内赤十字奉仕団	80
薩摩川内市東郷赤十字奉仕団	37
指宿市指宿赤十字奉仕団	101
西之表市赤十字奉仕団	271
南種子町赤十字奉仕団	104
日置市日吉赤十字奉仕団	28
合計	725

## 12. 献血の普及啓発

### ○献血セミナー

小学校や中学校、高等学校などの学校、各種団体等を対象にいのちの大切さや献血の重要性を伝える献血セミナーを実施しています。

令和6年度は、県内各地で6,720名の方々が参加されました！



↑鹿児島県美容専門学校では、  
献血実施直前に献血セミナーを実施



↑小学校での献血セミナーの様子

### ○キッズ献血

令和6年7月25日（木）に小学6年生を対象にキッズ献血を実施しました。

献血の模擬体験や、血液製剤が保管されている様子、献血運搬車への乗車体験など、このときしか体験できない内容を企画し、

「将来献血に來たいと思った。」

「色々な体験ができて楽しかった。」

などの感想をいただきました。



### ○職場体験

働くことの意義や、仕事に対する意識の向上を目的に県内の中学校から職場体験の受入れを行っています。

**実施内容** 献血者の接遇補助  
献血の呼びかけ  
救急法の講習  
広報資材の作成

**参加人数** 17校45名

## ○鹿児島県学生献血推進協議会

当組織は、赤十字の人道博愛の精神に基づいて、学生相互の研究討議及び親睦を図り、特に献血推進と普及啓発を目的に活動しています。

鹿児島県内の大学、短期大学、専門学校の学生を中心に結成され、献血のイベント等を企画・立案し、同世代の若者たちへ献血の大切さ、を広く呼び掛けています。

参加人数 43名

鹿児島大学、鹿児島国際大学、  
鹿児島女子短期大学、志學館大学、  
鹿児島医療技術専門学校



↑いろいろなキャンペーンを企画して、楽しく活動しています！



↑宮崎県との合同研修

## ○高校生への献血推進活動

約20年前（平成16年）は、県内の高等学校40校に献血バスで出向き、「高校献血」を実施しておりました。少子高齢化による学校の統廃合等もあり、徐々に高校献血は減少傾向にあり、令和6年度の高等学校への献血バス配車は、12校となっております。



当血液センターでは、高等学校へ献血バスを配車するだけでなく、近隣のショッピングセンターや献血ルームを案内し、学生への献血協力を推進しています。



↑約30年ぶりに復活した  
県立志布志高等学校での献血

←鹿児島市内の献血ルームでは、夏と春に高校生キャンペーンを実施しました。令和6年度は夏と春の合計で321名の高校生が参加されました。

## ○献血Web会員サービス「ラブラッド」

献血Web会員サービス「ラブラッド」は、予約やポイント付加、検査結果の閲覧、メール配信などのサービスを提供しています。

令和4年9月からはスマートフォン用アプリ「ラブラッド」を開始し、今まで献血に協力いただいたことがない方にもプレ会員として登録いただけることで、献血をさらに身近に感じられるようになっていきます。

令和8年1月5日から、献血カードや献血手帳の更新ができなくなることから、さらなるラブラッドへのご登録を推進しております（献血カード等がなくても受付はできます）。

献血Web会員サービス「ラブラッド」登録者数 **35,819人**  
(令和7年3月31日現在 鹿児島県を登録)

令和6年度新規登録者 **5,244名**



アプリの詳細  
ダウンロードは  
こちら



## ○骨髄データバンク登録事業

県内の献血ルームでは、  
献血と同時に骨髄バンクドナー登録の受付を行っています。

鹿児島県登録者数 **4,851人**

令和6年度新規登録者数 **399人**

あなたにしか救えない  
命があります。



ドナー登録は18歳から54歳まで  
骨髄バンクのドナー登録にご協力ください

日本骨髄バンク

TEL.03-5280-1789

ドナーバンク  
骨髄バンク 検査



## ○もう一度献血キャンペーン



1年に複数回の献血を推進するため、令和5年6月1日にオリジナルロゴを作成しました。  
令和6年7月1日から、第2回「もう一度献血キャンペーン」と題し、年に複数回400mL献血にご協力いただいた方の中から抽選で、オリジナル記念品(ちっちゃんぬいぐるみ)をプレゼントいたしました。

当血液センターでは、多くの方に献血にご協力いただけるようなキャンペーンを企画しています。

## ○けんけつ応援隊

鹿児島県赤十字血液センター独自のボランティア組織として平成23年7月に結成されました。  
献血会場での呼びかけや電話での献血依頼、SNSでの情報発信など、さまざまな献血推進活動に取り組んでいます。



### 13. 血液事業『この1年』

#### ○ 各種会議等

県外における会議

令和6年5月30日～6月1日	第72回日本輸血・細胞治療学会学術総会(東京都)
令和6年8月31日	輸血シンポジウム2024in九州(福岡県)
令和6年10月18日～19日	第31回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム(埼玉県)
令和6年11月12日～14日	第48回日本血液事業学会総会(福岡県)
令和6年11月30日	日本輸血・細胞治療学会九州支部会第71回総会・第92回例会(福岡県)

県内における会議

令和6年4月17日	南さつま市献血推進協議会	会場:南さつま市役所
令和6年5月15日	東串良町献血推進協議会	会場:東串良町保健センター
令和6年5月28日	奄美大島地区緊急時供血者登録制度連絡協議会	会場:奄美会館
令和6年6月11日	市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議	会場:血液センター
令和6年7月29日	鹿児島市献血推進対策協議会	会場:血液センター
令和6年8月1日	薩摩川内市献血推進協議会	会場:川内保健センター
令和6年11月14日	鹿屋市献血推進協議会	会場:鹿屋市健康相談センター
令和6年12月13日	西之表保健所管内市町献血担当者会議	会場:西之表保健所
令和6年12月18日	加世田保健所管内献血推進担当者会議	会場:加世田保健所
令和6年12月12日	始良保健所管内市町村担当者会議	会場:始良保健所
令和6年12月24日	鹿屋保健所管内市町献血推進担当者会議	会場:鹿屋保健所
令和7年2月12日	鹿児島県血液対策推進協議会	会場:血液センター
令和7年2月13日	中種子町献血推進協議会	会場:中種子町保健センター
令和7年3月19日	枕崎市献血推進懇話会	会場:枕崎市老人福祉センター

(書面開催)

屋久島町献血推進対策協議会
西之表市献血推進対策協議会
始良市献血推進対策協議会
和泊町献血推進協議会
いちき串木野市献血推進会議

#### ○ 災害救護及び災害救護訓練・研修等

令和6年7月5日	日本赤十字社の救護員登録にかかる共通課程	6名派遣	鹿児島市
令和6年8月23日	こころのケア研修	3名派遣	鹿児島市

## ○ 各種研究発表等

・第49回日本血液事業学会発表（福岡国際会議場令和6年11月12日～10月14日）

固定施設における高校3年生の献血推進

○齊藤真也，新留和海，花立秀士，永田祐輔，永野雄太，畠中康作，三反崎光夫，田上公威，竹原哲彦

成分採血装置トリマアクセルの血小板採取目標の使い分けによる採取総血小板数の最適化

○儀保景子，米山幸江，中園祐子，和合明子，内門悦子，上床勇揮，田上公威，竹原哲彦

緊急走行での供給依頼を是正する取り組み

○木本歩美，寺野玉枝，橋口厚太，松尾圭馬，江口沙央里，佐伯真由，惣福脇都，呉春樹，  
安田遼太，宮下幸一郎，田上公威，竹原哲彦

離島の医療機関への台風接近時の鹿児島県赤十字血液センターの対応

○惣福脇都，寺野玉枝，橋口厚太，松尾圭馬，江口沙央理，佐伯真由，木本歩美，呉春樹，  
安田遼太，宮下幸一郎，田上公威，竹原哲彦

鹿児島センターにおける心電図検査の適否判断状況

○上床勇揮，西稔典，宮元勝，内門悦子，三反崎光夫，田上公威，竹原哲彦

鹿児島センターにおける心電図検査の自動解析所見結果

○上床勇揮，西稔典，宮元勝，内門悦子，三反崎光夫，田上公威，竹原哲彦

## ○ 論文発表（令和3～6年度）

大木浩，古川良尚，竹原哲彦，西迫裕昭，宮下幸一郎，寺野玉枝，花牟禮豊，奥沙織，大塚真紀，  
森千奈美，宮園卓宜，藤山祐輝，中島彩乃，原口安江，原純，清武貴子，園田大敬，中野秀人，義  
永文一，田中朝志：奄美ブラッドローテーション：離島の中核病院における血液製剤利用に対して  
複数の連携医療機関が支援を行う運用の研究，日本輸血細胞治療学会誌，第67巻：414-424，2021年

古川良尚，大木浩，宮下幸一郎，野村秀洋，大塚真紀，砂原伸彦，時村洋，宮園卓宜，高山千史，  
田畑千穂子，川上保浩，大小田修司，竹原哲彦：鹿児島県離島における輸血医療の現状と課題，日  
本輸血細胞治療学会誌，第69巻：418-426，2023年

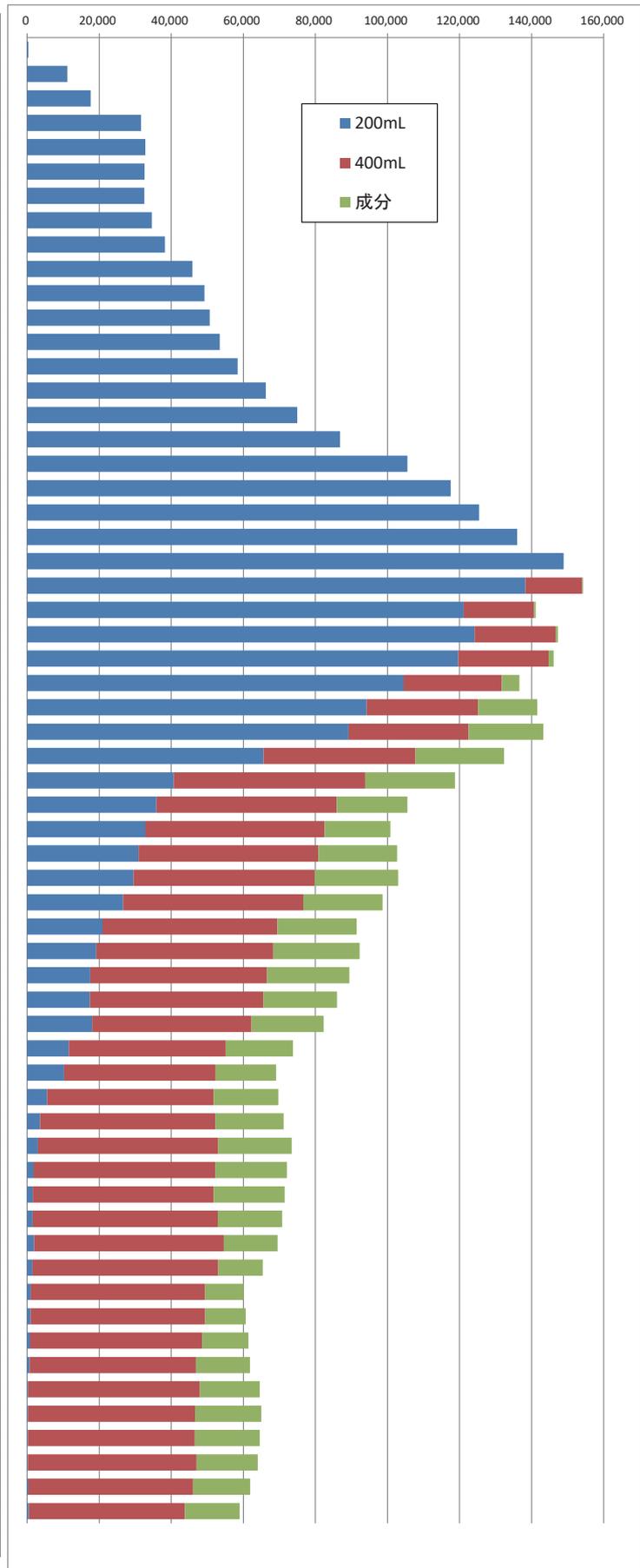
宮園卓宜，古川良尚，宮下幸一郎，大木浩，時村洋，大塚真紀，竹原哲彦：離島の悪天候時等にお  
ける血液製剤使用をブラッドローテーションにて支援する研究，日本輸血細胞治療学会誌，第71巻  
：1-8，2025年

# 14. 統計資料

## (1) 年度別・献血種別献血状況(鹿児島県内)

(単位:人)

年度	200mL	400mL	成分	合計
昭和 39 年	355			355
昭和 40 年	11,197			11,197
昭和 41 年	17,633			17,633
昭和 42 年	31,621			31,621
昭和 43 年	32,838			32,838
昭和 44 年	32,608			32,608
昭和 45 年	32,510			32,510
昭和 46 年	34,607			34,607
昭和 47 年	38,274			38,274
昭和 48 年	45,846			45,846
昭和 49 年	49,242			49,242
昭和 50 年	50,683			50,683
昭和 51 年	53,481			53,481
昭和 52 年	58,406			58,406
昭和 53 年	66,234			66,234
昭和 54 年	74,961			74,961
昭和 55 年	86,829			86,829
昭和 56 年	105,560			105,560
昭和 57 年	117,556			117,556
昭和 58 年	125,465			125,465
昭和 59 年	135,971			135,971
昭和 60 年	148,869			148,869
昭和 61 年	138,304	15,740	264	154,308
昭和 62 年	121,214	19,462	450	141,126
昭和 63 年	124,168	22,488	626	147,282
平成 元年	119,673	25,024	1,383	146,080
平成 2 年	104,480	27,231	4,930	136,641
平成 3 年	94,220	30,958	16,358	141,536
平成 4 年	89,213	33,319	20,690	143,222
平成 5 年	65,634	42,163	24,544	132,341
平成 6 年	40,695	53,127	24,890	118,712
平成 7 年	35,870	50,088	19,590	105,548
平成 8 年	32,800	49,759	18,248	100,807
平成 9 年	30,939	49,870	21,857	102,666
平成 10 年	29,536	50,235	23,197	102,968
平成 11 年	26,687	49,955	22,002	98,644
平成 12 年	20,910	48,570	21,976	91,456
平成 13 年	19,177	49,140	23,964	92,281
平成 14 年	17,509	49,073	22,876	89,458
平成 15 年	17,440	48,084	20,476	86,000
平成 16 年	18,108	44,173	20,029	82,310
平成 17 年	11,611	43,471	18,710	73,792
平成 18 年	10,287	42,077	16,769	69,133
平成 19 年	5,559	46,250	17,932	69,741
平成 20 年	3,662	48,534	19,030	71,226
平成 21 年	2,967	50,079	20,392	73,438
平成 22 年	1,837	50,365	19,882	72,084
平成 23 年	1,596	50,167	19,686	71,449
平成 24 年	1,557	51,333	17,878	70,768
平成 25 年	1,933	52,649	14,929	69,511
平成 26 年	1,548	51,524	12,331	65,403
平成 27 年	1,024	48,399	10,658	60,081
平成 28 年	1,010	48,428	11,225	60,663
平成 29 年	858	47,707	12,873	61,438
平成 30 年	713	46,157	14,970	61,840
令和 元年	312	47,615	16,662	64,589
令和 2 年	273	46,377	18,365	65,015
令和 3 年	179	46,386	18,022	64,587
令和 4 年	242	46,785	16,954	63,981
令和 5 年	344	45,740	15,850	61,934
令和 6 年	511	43,287	15,198	58,996
合計	2,545,346	1,711,789	636,666	4,893,801



## (2) 年度別・市町村別献血状況(学域除く)

(単位：人)

年度 市町村	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
鹿児島市	11,460	11,527	11,210	11,021	10,961	10,476	10,174	9,230	9,603	7,509
指宿市	917	970	942	879	873	914	929	742	767	679
南さつま市	844	819	864	727	711	725	540	694	742	650
枕崎市	384	305	329	341	318	376	389	391	354	346
南九州市	953	922	721	837	917	723	777	722	873	796
いちき串木野市	760	762	656	701	655	632	560	568	544	491
日置市	1,156	1,088	1,119	1,072	1,137	1,286	1,031	961	914	861
薩摩川内市	2,669	3,012	2,822	2,790	2,644	2,915	3,077	3,008	3,086	2,649
さつま町	583	610	605	575	595	644	610	580	568	673
出水市	1,038	955	968	886	921	1,050	1,173	1,116	1,138	970
阿久根市	576	549	554	473	494	530	603	659	559	447
長島町	105	108	137	157	156	163	169	179	177	145
伊佐市	710	664	765	654	757	732	683	653	647	547
霧島市	3,032	3,257	3,780	3,773	4,436	4,074	4,462	4,535	4,293	4,066
始良市	1,682	1,517	1,748	1,742	2,102	2,282	2,107	2,238	1,884	1,801
湧水町	212	176	201	171	160	193	166	167	163	149
曾於市	764	801	688	748	639	578	588	543	522	515
志布志市	820	632	722	648	698	530	547	502	514	487
大崎町	183	175	184	175	203	204	135	171	180	170
鹿屋市	2,964	2,937	2,815	2,861	2,824	2,490	2,696	2,699	2,741	2,455
垂水市	267	185	178	242	233	210	225	209	172	173
肝付町	519	460	408	409	426	359	379	407	262	280
東串良町	289	285	296	280	262	272	253	236	221	245
錦江町	170	155	163	148	163	121	134	115	99	98
南大隅町	140	148	96	127	137	126	148	126	125	134
西之表市	346	351	317	416	470	447	397	361	389	409
中種子町	152	177	180	165	206	237	141	130	157	152
南種子町	125	158	125	66	133	60	97	99	111	104
屋久島町	234	248	255	152	201	199	206	174	213	193
奄美市	694	682	643	613	714	785	822	792	803	835
瀬戸内町	173	167	166	168	280	251	230	205	215	243
龍郷町	69	74	68	113	81	203	143	207	225	63
宇検村	39	69	35	22	16	0	19	18	27	0
大和村	21	25	36	36	12	0	36	60	38	52
徳之島町	126	108	122	127	118	136	129	113	142	145
天城町	83	79	76	69	68	89	71	108	79	72
伊仙町	69	78	64	59	58	41	64	66	55	62
和泊町	52	93	118	97	123	0	0	0	0	0
知名町	58	82	115	104	112	0	0	0	0	0

### (3) 年度別・年代別献血者の推移

(単位：人)

年 度	16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
昭和61年	43,195	42,838	35,515	19,234	13,526	
昭和62年	37,476	38,314	32,675	19,138	13,523	
昭和63年	39,982	37,756	33,290	21,822	14,432	
平成元年	37,803	36,768	32,986	23,233	15,290	
平成2年	35,556	32,992	29,992	22,799	15,302	
平成3年	34,937	35,071	30,886	24,781	15,861	
平成4年	33,529	36,163	30,494	26,134	16,902	
平成5年	27,193	35,510	28,787	24,886	15,965	
平成6年	17,272	33,513	27,554	24,936	15,437	
平成7年	14,629	30,633	24,016	22,927	13,343	
平成8年	13,735	30,625	15,046	22,217	11,960	
平成9年	14,597	30,846	22,222	22,353	12,648	
平成10年	14,330	31,486	22,139	21,854	13,159	
平成11年	12,762	29,040	14,501	7,358	11,672	3,074
平成12年	11,578	26,308	19,889	19,526	11,415	2,740
平成13年	11,310	26,066	20,670	19,658	11,881	2,696
平成14年	10,535	24,458	20,892	18,765	12,131	2,677
平成15年	9,135	22,171	20,667	18,899	12,642	2,666
平成16年	8,770	20,677	20,025	18,009	12,232	2,597
平成17年	6,742	18,120	18,400	16,493	11,633	2,404
平成18年	5,728	16,083	17,562	15,738	11,654	1,368
平成19年	4,991	15,763	17,598	16,361	12,215	2,813
平成20年	3,824	15,513	18,321	17,197	12,862	3,509
平成21年	3,591	15,582	18,742	17,666	13,637	4,220
平成22年	3,281	14,016	18,801	17,995	13,590	4,401
平成23年	3,446	13,226	17,728	18,503	13,805	4,741
平成24年	3,881	12,879	17,137	18,547	13,611	4,713
平成25年	3,962	12,172	15,838	18,442	13,967	5,130
平成26年	3,334	10,662	14,375	17,827	14,013	5,192
平成27年	2,948	9,399	12,535	16,499	13,341	5,359
平成28年	2,980	9,524	11,977	17,067	13,617	5,498
平成29年	3,088	9,615	11,549	17,129	14,077	5,980
平成30年	2,945	9,363	11,598	16,802	14,868	6,264
令和元年	2,681	9,080	12,140	17,650	16,133	6,905
令和2年	2,096	8,430	11,877	17,753	17,160	7,699
令和3年	1,884	8,167	11,331	17,142	17,809	8,254
令和4年	1,958	7,791	10,502	16,250	18,306	9,174
令和5年	2,007	7,137	9,823	14,996	18,497	9,474
令和6年	1,822	6,587	8,694	14,260	17,999	9,634

※昭和61年～平成11年は50-64歳までの集計。平成11年4月1日より献血可能年齢が69歳に引き上げ

## (4)市町村献血推進協議会設立の状況

設置年月日	会 名	委員数	設置年月日	会 名	委員数
1 昭和41年 5月26日	加世田市献血推進連絡協議会	(29)	42 昭和43年 1月10日	鶴田町献血推進連絡協議会	(15)
2 昭和41年 9月 6日	出水市献血推進対策協議会	(30)	43 昭和43年 2月 1日	金峰町献血推進対策協議会	(23)
3 昭和41年 9月 7日	高尾野町献血推進連絡協議会	(26)	44 昭和43年 2月29日	大隅町献血推進対策協議会	(24)
4 昭和41年 9月 9日	枕崎市献血推進連絡協議会	(36)	45 昭和43年 3月 1日	薩摩町献血推進連絡協議会	(10)
5 昭和41年 9月13日	垂水市献血推進連絡協議会	(55)	46 昭和43年 3月25日	霧島町献血推進対策協議会	(28)
6 昭和41年 9月16日	川辺町献血推進連絡協議会	(45)	47 昭和43年 3月27日	財部町献血推進対策協議会	(21)
7 昭和41年 9月19日	知覧町献血推進連絡協議会	(20)	48 昭和43年 4月 1日	南種子町献血推進対策協議会	(26)
8 昭和41年 9月20日	伊集院町献血推進連絡協議会	(21)	49 昭和43年 4月12日	田代町献血推進協議会	(19)
9 昭和41年 9月27日	指宿市献血推進連絡協議会	(99)	50 昭和43年 5月 9日	中種子町献血推進協議会	(17)
10 昭和41年10月19日	笠沙町献血推進連絡協議会	(64)	51 昭和43年 5月15日	西之表市献血推進協議会	(17)
11 昭和41年10月25日	坊津町献血推進連絡協議会	(26)	52 昭和43年 7月24日	有明町献血推進対策協議会	(24)
12 昭和41年10月26日	大浦町献血推進連絡協議会	(21)	53 昭和43年 7月27日	末吉町献血推進対策協議会	(26)
13 昭和41年11月 1日	串木野市献血推進連絡協議会	(99)	54 昭和43年10月 7日	松山町献血推進協議会	(22)
14 昭和41年11月 4日	内之浦町献血推進連絡協議会	(34)	55 昭和43年10月11日	宇検村献血対策推進協議会	(15)
15 昭和41年11月 7日	阿久根市献血推進対策協議会	(36)	56 昭和43年11月 8日	瀬戸内町献血対策推進協議会	(20)
16 昭和41年11月 7日	吹上町献血推進連絡協議会	(27)	57 昭和43年11月11日	東町献血推進対策協議会	(17)
17 昭和41年12月13日	横川町献血推進対策協議会	(18)	58 昭和43年11月26日	長島町献血推進対策協議会	(16)
18 昭和41年12月20日	志布志町献血推進対策協議会	(20)	59 昭和43年12月 4日	名瀬市献血対策推進協議会	
19 昭和42年 1月 9日	頰娃町献血推進連絡協議会		60 昭和44年 1月 1日	龍郷町献血対策推進協議会	( 8)
20 昭和42年 1月18日	鹿屋市献血推進協議会	(65)	61 昭和44年 1月27日	大和村献血対策推進協議会	( 7)
21 昭和42年 1月22日	東市来町献血推進協議会	(27)	62 昭和44年 2月25日	喜界町献血対策推進協議会	(37)
22 昭和42年 1月24日	隼人町健康づくり推進協議会	(27)	63 昭和44年 3月28日	溝辺町献血推進対策協議会	(41)
23 昭和42年 1月31日	牧園町献血推進対策協議会	(21)	64 昭和44年 3月31日	上屋久町献血推進対策協議会	
24 昭和42年 2月24日	川内市献血推進連絡協議会		65 昭和44年 4月 1日	開聞町献血推進連絡協議会	(69)
25 昭和42年 3月 7日	大口市献血推進連絡協議会	(70)	66 昭和44年 4月 7日	野田町献血推進協議会	(42)
26 昭和42年 4月13日	大根占町献血推進協議会	(72)	67 昭和44年 5月13日	高山町献血推進協議会	(53)
27 昭和42年 4月18日	佐多町献血推進対策協議会	(16)	68 昭和44年10月 1日	山川町献血推進連絡協議会	(32)
28 昭和42年 5月 1日	東串良町献血推進連絡協議会	(31)	69 昭和45年10月14日	鹿児島市献血推進対策協議会	
29 昭和42年 7月15日	吉松町献血推進対策協議会	(14)	70 昭和57年10月 1日	伊仙町献血推進協議会	(22)
30 昭和42年 8月31日	加治木町献血推進対策協議会	(27)	71 昭和57年10月20日	天城町献血推進協議会	(15)
31 昭和42年 9月11日	宮之城町献血推進連絡協議会	(19)	72 昭和57年10月27日	徳之島町献血推進協議会	(78)
32 昭和42年 9月18日	市来町献血推進対策協議会	(25)	73 平成 4年11月12日	知名町献血推進協議会	(24)
33 昭和42年 9月20日	国分市健康増進協議会	(28)	74 平成 4年11月13日	和泊町献血推進協議会	(13)
34 昭和42年 9月22日	始良町献血推進対策協議会	(25)	75 平成16年11月 1日	鹿児島市献血推進対策協議会(市町村合併に伴う)	(20)
35 昭和42年10月 4日	根占町献血推進協議会	(21)	76 平成17年 3月 9日	薩摩川内市献血推進連絡協議会(〃)	(20)
36 昭和42年10月16日	日吉町献血推進協議会	(62)	77 平成18年 1月 1日	鹿屋市献血推進協議会(〃)	(26)
37 昭和42年10月16日	蒲生町献血推進対策協議会	(26)	78 平成18年 3月20日	奄美市献血推進協議会(〃)	(15)
38 昭和42年10月27日	栗野町献血推進協議会	(32)	79 平成19年10月 1日	屋久島町献血推進対策協議会(〃)	(13)
39 昭和42年11月20日	福山町献血推進協議会	(28)	80 平成22年 7月 7日	始良市献血推進対策協議会(〃)	(39)
40 昭和42年11月24日	大崎町献血推進対策協議会	(20)	81 平成25年 8月25日	南さつま市献血推進協議会(〃)	(25)
41 昭和42年12月16日	菱刈町献血推進協議会	(29)			

## (5) 厚生労働大臣表彰状受賞団体

年月日	大会名（開催地）	受賞団体
平成2年7月11日	第26回（熊本市）	株式会社南日本放送
平成3年7月17日	第27回（長野市）	株式会社山形屋
平成4年7月15日	第28回（広島市）	西之表市献血推進協議会
平成5年7月14日	第29回（盛岡市）	学校法人時任学園樟南高等学校 （鹿児島商工高等学校）
平成6年7月14日	第30回（四日市市）	川内市献血推進連絡協議会 鹿屋市献血推進協議会
平成7年7月12日	第31回（山梨市）	出水市献血推進協議会 学校法人神村学園
平成8年7月25日	第32回（佐賀市）	加世田市献血推進連絡協議会 中越パルプ工業株式会社川内工場
平成9年7月23日	第33回（徳島市）	株式会社九州電力鹿児島支店 東市来町血液対策推進協議会
平成10年7月16日	第34回（福島市）	株式会社鹿児島銀行 東串良町献血推進連絡協議会
平成11年7月22日	第35回（富山市）	隼人町健康づくり推進協議会 南九州畜産興業株式会社
平成12年7月12日	第36回（京都市）	鹿児島県建設業協会加治木支部 佐多町献血推進対策協議会
平成13年7月19日	第37回（山口市）	国分市健康増進協議会 学校法人川島学園鹿児島実業高等学校
平成14年7月11日	第38回（宮崎市）	枕崎市献血推進連絡協議会 鹿児島県信用金庫協会
平成15年7月10日	第39回（水戸市）	吹上町献血推進連絡協議会 鹿児島城山ライオンズクラブ
平成16年7月15日	第40回（大分市）	内之浦町献血推進連絡協議会 鹿児島県立加世田常潤高等学校
平成17年7月13日	第41回（和歌山市）	陸上自衛隊国分駐屯地 川内青年会議所
平成18年7月13日	第42回（前橋市）	川辺町献血推進連絡協議会 蒲生町献血推進対策協議会
平成19年7月4日	第43回（福井市）	中種子町献血推進協議会 屋久町献血推進対策協議会
平成20年7月17日	第44回（宇都宮市）	京セラ株式会社鹿児島川内工場 京セラ労働組合国分支部
平成21年7月16日	第45回（佐世保市）	鹿児島県立加治木工業高等学校生徒会 学校法人希望が丘学園鳳凰高等学校
平成22年7月15日	第46回（松江市）	南種子町献血推進協議会 学校法人原田学園鹿児島情報高等学校
平成23年7月15日	第47回（山形市）	ブリマハム株式会社鹿児島工場 九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社
平成24年7月24日	第48回（大津市）	加世田ライオンズクラブ 海上自衛隊鹿屋航空基地
平成25年7月5日	第49回（福岡市）	学校法人都築教育学園第一工業大学 JX日鉱日石石油基地株式会社
平成26年7月10日	第50回（名古屋市）	NTT 労働組合九州総支部鹿児島分会 串木野青年会議所
平成27年7月17日	第51回（大阪市） ※第51回献血運動推進全国大会は、台風11号接近のため中止	学校法人津曲学園鹿児島国際大学 鹿児島県消防学校
平成28年7月7日	第52回（東京都）	奄美市献血推進協議会 学校法人日章学園鹿児島城西高等学校
平成29年7月12日	第53回（秋田市）	学校法人川島学園れいめい高等学校 株式会社加根又本店
平成30年7月12日	第54回（岡山市） ※第54回献血運動全国大会は、平成30年7月豪雨のため中止	鹿児島県立屋久島高等学校 南九州日野自動車株式会社
令和元年7月11日	第55回（金沢市）	学校法人志学館学園鹿児島女子短期大学 学校法人川島学園鹿児島工学院専門学校
令和2年6月24日	第56回（札幌市） ※第56回献血運動推進全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	北さつま農業協同組合 マルイ農業協同組合
令和3年9月9日	第57回（鹿児島市） ※第57回献血運動推進全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	山形屋商事株式会社 一般社団法人生命保険協会鹿児島県協会
令和4年7月14日	第58回（松山市）	末吉ライオンズクラブ フェミテックセミコンダクター株式会社
令和5年7月26日	第59回（千葉市）	鹿児島市交通局 鹿児島県立鹿屋高等技術専門学校
令和6年7月18日	第60回（岐阜市）	公益社団法人新大隅青年会議所 セイカ食品株式会社 公益社団法人枕崎青年会議所

## (6) 厚生労働大臣感謝状受賞団体及び個人

年月日	大会名（開催地）	受賞団体(者)	年月日	大会名（開催地）	受賞団体(者)
昭和41年9月14日	第2回（名古屋市）	加世田市献血推進連絡協議会 株式会社南日本放送	昭和59年7月25日	第20回（東京都）	野田町献血推進協議会 上屋久町献血推進対策協議会
昭和42年9月18日	第3回（大阪市）	出水市献血推進対策協議会 佐多町献血推進対策協議会 鹿児島県生命保険協会			松山町献血推進協議会 ライオンズクラブ国際協会加世田クラブ 社団法人川内青年会議所 学校法人津曲学園鹿児島高等学校 鹿児島県立中種子高等学校
昭和43年9月10日	第4回（福岡市）	鹿屋市献血推進協議会 川内市献血推進連絡協議会 株式会社山形屋	昭和60年7月17日	第21回（青森市）	東郷町献血推進対策協議会 喜入町献血推進連絡協議会 知覧町献血推進連絡協議会 鹿児島県立伊佐農林高等学校 学校法人川内純心女子学園川内純心女子高等学校 鹿児島県立国分高等学校
昭和44年9月5日	第5回（秋田市）	内之浦町献血推進連絡協議会 九州電力株式会社鹿児島支店 学校法人川島学園鹿児島実業高等学校			満辺町献血推進対策協議会 志布志町献血推進対策協議会 指宿市献血推進連絡協議会 金峰町献血推進対策協議会 学校法人前田学園鹿屋中央高等学校 学校法人希望が丘学園加世田女子高等学校 鹿児島県立大口高等学校 鹿児島県消防学校
昭和45年7月1日	第6回（岡山市）	東市来町血液対策推進協議会 鹿児島県立薩南工業高等学校 鹿児島県立串木野高等学校	昭和61年7月23日	第22回（高知市）	加治木町献血推進対策協議会 大口市献血推進対策協議会 日吉町献血推進協議会 鹿児島県立鹿児島東高等学校 鹿児島県立宮之城高等学校 学校法人原田学園鹿児島電子工業高等学校 海上自衛隊鹿屋航空基地
昭和46年7月8日	第7回（金沢市）	吹上町献血推進連絡協議会 郡山町献血推進対策協議会 牧園町中津川校区婦人会			宮之城町献血推進連絡協議会 阿久根市献血推進対策協議会 大浦町献血推進連絡協議会 大隅町献血推進対策協議会 鹿児島県立南種子高等学校 学校法人都築教育学園第一工業大学 学校法人ラ・サール学園ラ・サール高等学校 川内職業訓練短期大学校
昭和47年7月11日	第8回（札幌市）	伊集院町献血推進対策協議会 入来町献血推進連絡協議会 鹿児島県立隼人工業高等学校	昭和62年7月8日	第23回（浦和市）	高山町献血推進協議会 有明町献血推進対策協議会 栗野町献血推進協議会 吉松町献血推進対策協議会 学校法人大口明光学園大口明光学園高等学校 鹿児島県立種子島高等学校 鹿児島県立加世田高等学校 日本石油基地株式会社 坊津町献血推進協議会 鶴田町献血推進協議会 吾平町献血推進協議会 霧島町献血推進協議会 鹿児島県立指宿高等学校 鹿児島県立阿久根農業高等学校 学校法人鹿児島学園加治木女子高等学校 全国電気通信労働組合鹿児島県支部 祁答院町献血推進連絡協議会 東町献血推進対策協議会 長島町献血推進対策協議会 鹿児島県立枕崎高等学校 学校法人川島学園れいめい高等学校 学校法人津曲学園鹿児島経済大学 社団法人串木野青年会議所 有限会社天文館薬局 輝北町献血推進対策協議会 福山町献血推進協議会 田代町献血推進協議会 鹿児島県立笠沙高等学校 鹿児島県立屋久島高等学校 鹿児島城西高等学校
昭和48年7月11日	第9回（鹿児島市）	隼人町献血推進対策協議会 蒲生町献血推進対策協議会 鹿児島県立市来農芸高等学校 学校法人神村学園串木野女子高等学校 大坪金雄			
昭和49年7月17日	第10回（松山市）	国分市献血推進対策協議会 枕崎市献血推進連絡協議会 学校法人坂元学園九州学院大学附属高等学校	昭和63年7月6日	第24回（奈良市）	
昭和50年7月17日	第11回（千葉市）	高尾野町献血推進連絡協議会 松元町献血推進協議会 学校法人時任学園鹿児島商工高等学校			
昭和51年7月14日	第12回（岐阜市）	東串良町献血推進連絡協議会 鹿児島信用金庫 鹿児島県立加世田農業高等学校			
昭和52年7月20日	第13回（仙台市）	川辺町献血推進連絡協議会 プリマム株式会社鹿児島工場 学校法人鹿児島純心女子学園鹿児島純心女子高等学校	平成元年7月19日	第25回（新潟市）	
昭和53年9月19日	第14回（鳥取市）	大根占町献血推進協議会 中越パルプ工業株式会社川内工場 鹿児島県立串良商業高等学校			
昭和54年7月18日	第15回（横浜市）	西之表市献血推進対策協議会 学校法人実践学園鹿児島実践女子高等学校 株式会社鹿児島銀行			
昭和55年7月23日	第16回（神戸市）	市来町献血推進連絡協議会 中種子町献血推進協議会 鹿児島県立栗野工業高等学校 陸上自衛隊国分駐屯地	平成2年7月11日	第26回（熊本市）	
昭和56年7月15日	第17回（高松市）	牧園町献血推進対策協議会 鹿児島県立入来商業高等学校 南九州畜産興業株式会社			
昭和57年7月21日	第18回（静岡市）	串木野市献血推進連絡協議会 根占町献血推進協議会 屋久町献血推進対策協議会 鹿児島県立鹿児島水産高等学校 鹿児島県立加治木工業高等学校 学校法人出水学園高等学校 鹿児島鉄道管理局鹿児島車輛管理所 鹿児島日本電気株式会社	平成3年7月17日	第27回（長野市）	
昭和58年7月13日	第19回（那覇市）	南種子町献血推進対策協議会 末吉町献血推進対策協議会 樋脇町献血推進対策協議会 鹿児島県立野田女子高等学校 鹿児島県立種子島実業高等学校 鹿児島県立穎娃高等学校 社団法人鹿児島県建設協会加治木支部 鹿児島相互信用金庫	平成4年7月15日	第28回（広島市）	

年月日	大会名（開催地）	受賞団体(者)	年月日	大会名（開催地）	受賞団体(者)
平成5年7月14日	第29回（盛岡市）	京セラ株式会社鹿児島川内工場 京セラ労働組合国分支部 鹿屋ライオネスクラブ 始良町献血推進対策協議会 薩摩町献血推進連絡協議会 大崎町献血推進対策協議会 鹿児島県立宮之城農業高等学校 鹿児島市立鹿児島女子高等学校 株式会社加根又本店 ヤマハ鹿児島セミコンダクタ株式会社 指宿市立西指宿中学校 P T A 菱刈町献血推進協議会 串良町献血推進対策協議会 笠沙町献血推進連絡協議会 学校法人実践学園鹿児島女子短期大学 学校法人赤塚学園ビジネス専門学校 鹿児島県農業協同組合連合会 鹿児島日野自動車株式会社 鹿児島貯金事務センター 鹿児島城山ライオンズクラブ 財部町献血推進対策協議会 桜島町献血推進対策協議会 垂水市献血推進連絡協議会 山川町献血推進連絡協議会 学校法人川島学園鹿児島工科専門学校 九州旅客鉄道株式会社鹿児島車輛所 さつま農業協同組合 鹿児島市交通局 加世田ライオンズクラブ 吉田町献血推進対策協議会 穎娃町献血推進連絡協議会 開聞町献血推進連絡協議会 国立鹿児島工業高等専門学校 新鹿児島いすゞモーター株式会社 鹿児島松下電子株式会社 株式会社サンコー電機 社団法人鹿屋青年会議所 鹿児島県立鹿屋高等技術専門学校 山形屋商事株式会社 医療法人仁心会松下病院 マルイ農業協同組合 全電通鹿児島県支部川内分會 株式会社タイヨー 末吉ライオンズクラブ 紫原五丁目商工会 社団法人新大隅青年会議所 社団法人鹿児島歯科医師会鹿児島歯科学院専門学校 株式会社日本計器鹿児島製作所 株式会社九州富士通エレクトロニクス ソニー国分株式会社 屋久島電工株式会社 鹿児島市立立谷山小学校 P T A 社団法人枕崎青年会議所 セイカ食品株式会社 名瀬市献血推進協議会 出水市立病院 医療法人尚人会阿多准看護学院 大島運輸株式会社 鹿児島市立鹿児島商業高等学校 鹿児島県立甲南高等学校 薩摩酒造株式会社 薩摩マツダ株式会社 日本特殊陶業株式会社 医療法人三州会大勝病院 尾崎商事株式会社志布志工場 鹿児島県立農業大学校	平成13年7月19日	第37回（山口市）	学校法人川島学園尚志館高等学校 学校法人津曲学園鹿児島短期大学 九州電力株式会社川内原子力発電所 宮之城ロータリークラブ 阿久根ライオンズクラブ 徳之島町献血推進協議会 学校法人志學館学園志學館大学 アルバック鹿児島工業団地 財団法人昭和会今給黎総合病院 鹿児島山ライオンズクラブ 鹿児島県建設業協会川内支部 鹿児島市立吉野小学校 P T A 指宿アロハ会 瀬戸内町献血対策推進協議会 鹿児島県立鹿児島南高等学校 学校法人時任学園樟南第二高等学校 薩摩マツダ株式会社 社団法人鹿児島共済会南風病院 社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院 出水ライオンズクラブ 鹿児島市立立宿小学校 P T A 鹿児島県美容専門学校 K C S 鹿児島情報専門学校 社団法人鹿児島精神衛生協会横山病院 笠利町血液対策推進協議会 鹿児島トヨタ自動車株式会社川内店 鹿児島市水道局 株式会社南日本新聞社 医療法人愛誠会昭南病院 横川町献血推進対策協議会 鹿児島県立古仁屋高等学校 ネットヨタ鹿児島株式会社 医療法人仁心会福山病院 日本銀行鹿児島支店 日本ガス株式会社 鹿児島総合卸商業団地協同組合 鹿児島市立西陵小学校 P T A 鹿児島市献血推進対策協議会 鹿児島県立大島工業高等学校 九州電力株式会社鹿児島支店鹿屋営業所 株式会社老舗恵命堂屋久島工場 隼人町立医師会医療センター 株式会社 J A 食肉かごしま南薩工場 いわさきホテルズ株式会社指宿いわさきホテル 鹿児島県立徳之島高等学校 鹿児島県警察本部 株式会社指宿白水館 株式会社協栄 株式会社マイカル九州始良サティ 川内ライオンズクラブ川内ライオネス支部 大隅ライオンズクラブ 宮之城ライオンズクラブ 鹿児島県立大島高等学校 株式会社九電工鹿児島支店 大口電子株式会社 医療法人卓翔会市比野記念病院 岩崎産業株式会社 加治木町立柁城小学校 国分隼人ライオンズクラブ 龍郷町献血対策推進協議会 鹿児島県共同トラクターミナル株式会社 医療法人柏葉会水間病院 鹿児島市立川上小学校 P T A 種子屋久農業協同組合 鹿児島トヨタ自動車株式会社 加治木町商工会
平成6年7月14日	第30回（四日市市）		平成14年7月11日	第38回（宮崎市）	
平成7年7月12日	第31回（山梨市）		平成15年7月10日	第39回（水戸市）	
平成8年7月25日	第32回（佐賀市）		平成16年7月15日	第40回（大分市）	
平成9年7月23日	第33回（徳島市）		平成17年7月13日	第41回（和歌山市）	
平成10年7月16日	第34回（福島市）		平成18年7月13日	第42回（前橋市）	
平成11年7月22日	第35回（富山市）		平成19年7月4日	第43回（福井市）	
平成12年7月12日	第36回（京都市）		平成20年7月17日	第44回（宇都宮市）	

年月日	大会名（開催地）	受賞団体(者)	年月日	大会名（開催地）	受賞団体(者)
平成21年 7月16日	第45回（佐世保市）	宇検村献血推進対策協議会 ヤマト電子株式会社 医療法人社団社会福祉法人隼仁会 トヨタカローラ鹿児島株式会社 鹿児島空港ビルディング株式会社 社団法人鹿児島県建築協会 さつま川内農業協同組合 かのや東ロータリークラブ 南九州市立頼娃看護学校 鹿児島県立吹上高等技術専門学校 串良ロータリークラブ 株式会社九州新城 株式会社NEOMAX鹿児島 知名町献血推進協議会 鹿児島県立沖永良部高等学校 和泊町献血推進協議会	令和元年 7月11日	第55回（金沢市）	鹿児島三菱自動車販売株式会社 出水部医師会広域医療センター 南日本くみあい飼料株式会社志布志工場 薩摩酒造株式会社頼娃蒸溜所 志布志石油備蓄株式会社志布志事業所 国分ロータリークラブ 国分中央ロータリークラブ 医療法人徳洲会沖永良部徳洲会病院 独立行政法人国立病院機構南九州病院 株式会社サクラクレバス鹿児島工場 伊佐市医師会立看護学校 医療法人至誠会中村温泉病院 医療法人共生会
平成22年 7月15日	第46回（松江市）	陸上自衛隊川内駐屯地 いぶすき農業協同組合 大口ロータリークラブ 薩摩川内市消防局 京セラ株式会社鹿児島隼人工場 鹿児島県建設業協会鹿屋支部青年部会 串木野ライオンズクラブ 鹿児島市立紫原小学校 鹿児島市管工事協同組合 医療法人玉昌会加治木温泉病院 あいら農業協同組合栗野統括支店 住友金属鉱山株式会社菱刈鉱山 志布志畜産株式会社 鹿児島県立大島北高等学校 学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校 鹿児島県建設業青年部会出水支部 鹿児島南ライオンズクラブ 加治木産業株式会社 株式会社植村組川内支店 松元機工株式会社 南西糖業株式会社徳之島事業本部徳和瀬工場 天城町献血推進協議会 伊仙町献血推進協議会 鹿児島市立原良小学校 PTA 川辺ライオンズクラブ 株式会社九州タブチ 医療法人吉祥会吉井中央病院 鹿児島南警察署	令和2年 6月27日	第56回（札幌市）	※第56回献血運動推進全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 シチズン時計マニュファクチャリング株式会社鹿児島工場 社会医療法人恒心会恒心会おぐら病院 学校法人日章学園奄美看護福祉専門学校 Aコープ宮之浦店 南生糖業株式会社徳之島事業本部伊仙工場 鹿児島ライオンズクラブ
平成23年 7月15日	第47回（山形市）	※第57回献血運動推進全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 株式会社新生社印刷 メテック株式会社九州事業所鹿児島工場 薩摩川内ロータリークラブ 出水市消防本部 南国殖産株式会社 鹿児島西警察署 学校法人原田学園鹿児島キャリアデザイン専門学校 大口建設業協同組合青年部会 九州電力株式会社山川発電所 鹿児島きもつき農業協同組合 医療法人クオラオラリハビリテーション病院 始良市消防本部 株式会社大和ブラッセ出水店 医療法人徳洲会屋久島徳洲会病院 医療法人昭泉会馬場病院 株式会社宇都組 伊佐湧水消防組合 薩摩郡医師会病院 ヤマト運輸株式会社鹿児島主管支店 大隅肝属地区消防組合 鎌田建設株式会社 公益社団法人川内市医師会立市民病院 株式会社エコープAコープ串木野支店	令和3年 9月9日	第57回（鹿児島市）	
平成24年 7月24日	第48回（大津市）	※第58回献血運動推進全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 株式会社大和ブラッセ出水店 医療法人徳洲会屋久島徳洲会病院 医療法人昭泉会馬場病院 株式会社宇都組 伊佐湧水消防組合 薩摩郡医師会病院 ヤマト運輸株式会社鹿児島主管支店 大隅肝属地区消防組合 鎌田建設株式会社 公益社団法人川内市医師会立市民病院 株式会社エコープAコープ串木野支店	令和4年 7月14日	第58回（松山市）	
平成25年 7月5日	第49回（福岡市）	※第59回献血運動推進全国大会は、台風11号接近のため中止 鹿児島県建設業協会宮之城支部 南日本酪農協同株式会社鹿屋工場 北さつま農業協同組合伊佐総合支所 西部電設株式会社鹿児島支店加治木営業所 航空自衛隊沖永良部島分屯基地 株式会社指宿フェニックスホテル 九州化工株式会社 伊佐ライオンズクラブ そお鹿児島農業協同組合 株式会社クリモト 霧島市消防局 鹿児島部品株式会社 アロン電機株式会社 株式会社指宿ロイヤルホテル きもつきロータリークラブ 九州電力株式会社川内発電所 株式会社丸榮 医療法人恵明会整形外科松元病院 指宿シーサイドホテル株式会社 西之表ショッピングセンター 垂水市立医療センター垂水中央病院 南さつま農業協同組合	令和5年 7月26日	第59回（千葉市）	
平成26年 7月10日	第50回（名古屋市）	※第60回献血運動推進全国大会は、平成30年7月豪雨のため中止	令和6年 7月18日	第60回（岐阜市）	
平成27年 7月17日	第51回（大阪市）				
平成28年 7月7日	第52回（東京都）				
平成29年 7月12日	第53回（秋田市）				
平成30年 7月12日	第54回（岡山市）				

# (7) 鹿児島県知事感謝状受賞団体及び個人

## ●昭和41年度

鹿児島市 株式会社南日本放送

## ●昭和44年度

東市来町 東市来町血液対策推進協議会  
川内市 中越パルプ工業株式会社川内工場  
串木野市 鹿児島県立串木野高等学校  
知覧町 鹿児島県立薩南工業高等学校  
佐多町 大坪 金雄  
〃 児玉 卓治  
鹿児島市 森下 政好

## ●昭和45年度

吹上町 吹上町献血推進連絡協議会  
郡山町 郡山町献血推進対策協議会  
鹿児島市 国立鹿児島病院  
川内市 鹿児島鉄道管理局川内保線区  
牧園町 津川校区婦人会  
川内市 吉永 明治  
鹿児島市 吉村 義美

## ●昭和46年度

牧園町 牧園町献血推進対策協議会  
市来町 市来町献血対策推進協議会  
入来町 入来町献血推進連絡協議会  
伊集院町 伊集院町献血推進連絡協議会  
根占町 根占町献血推進協議会  
市来町 鹿児島県立市来農芸高等学校  
栗野町 鹿児島県立栗野工業高等学校  
隼人町 鹿児島県立隼人工業高等学校  
串良町 鹿児島県立串良商業高等学校  
串木野市 学校法人神村学園串木野女子高等学校  
鹿児島市 学校法人実践学園鹿児島実践女子高等学校  
〃 鹿児島学生献血推進会  
〃 株式会社鹿児島銀行  
川内市 迫田 啓二  
牧園町 田中 盛夫

## ●昭和47年度

隼人町 隼人町献血推進対策協議会  
蒲生町 蒲生町献血推進対策協議会  
川辺町 川辺町献血推進連絡協議会  
国分市 学校法人坂元学園九州学院大学附属高等学校  
入来町 鹿児島県立入来商業高等学校  
西之表市 鹿児島県立種子島実業高等学校  
串木野市 プリマハム株式会社九州園事業本部鹿児島工場  
入来町 村岸 昭信

## ●昭和48年度

枕崎市 枕崎市献血推進連絡協議会  
国分市 国分市献血推進対策協議会  
松元町 松元町献血推進協議会  
穎娃町 鹿児島県立穎娃高等学校  
鹿児島市 学校法人時任学園鹿児島商工高等学校  
加治木町 鹿児島県立加治木工業高等学校  
国分市 陸上自衛隊国分駐屯地業務隊  
鹿児島市 野崎 瞭  
川内市 大曲 満榮

## ●昭和49年度

高尾野町 高尾野町献血推進連絡協議会  
大根占町 大根占町献血推進対策協議会  
西之表市 西之表市献血推進対策協議会  
加世田市 鹿児島県立加世田農業高等学校  
野田町 鹿児島県立野田女子高等学校  
鹿児島市 学校法人鹿児島純心学園鹿児島純心女子高等学校  
〃 鹿児島信用金庫  
末吉町 南九州畜産興業株式会社

## ●昭和50年度

東串良町 東串良町献血推進連絡協議会  
屋久町 屋久町献血推進対策協議会  
串木野市 串木野市献血推進連絡協議会  
中種子市 中種子町献血推進協議会  
鹿児島市 鹿児島鉄道管理局車輛管理所  
出水市 鹿児島日本電気株式会社  
川内市 京都セラミック株式会社鹿児島川内工場  
鹿児島市 学校法人津曲学園鹿児島高等学校  
出水市 学校法人出水学園高等学校  
大口市 鹿児島県立伊佐農林高等学校

## ●昭和51年度

阿久根市 阿久根市献血推進対策協議会  
上屋久町 上屋久町献血推進対策協議会  
末吉町 末吉町献血推進対策協議会  
樋脇町 樋脇町献血推進対策協議会  
南種子町 南種子町献血推進対策協議会  
鹿児島市 立正佼成会鹿児島教青年部  
伊集院町 鹿児島県立伊集院高等学校  
枕崎市 鹿児島県立鹿児島水産高等学校  
国分市 鹿児島県立国分高等学校  
川内市 学校法人川内純心女子学園川内純心女子高等学校

## ●昭和52年度

東郷町 東郷町献血推進対策協議会  
坊津町 坊津町献血推進連絡協議会  
鶴田町 鶴田町献血推進連絡協議会  
野田町 野田町献血推進協議会  
喜入町 喜入町献血推進連絡協議会  
社団法人鹿児島県建設業協会加治木支部  
加治木町 山佐産業株式会社  
東市来町 鹿児島県消防学校  
大口市 鹿児島県立大口高等学校  
吹上町 鹿児島県立吹上高等学校  
中種子町 鹿児島県立中種子高等学校  
鹿児島市 学校法人前田学園鹿児島商業高等学校

## ●昭和53年度

金峰町 金峰町献血推進対策協議会  
宮之城町 宮之城町献血推進連絡協議会  
大口市 大口市献血推進連絡協議会  
知覧町 知覧町献血推進連絡協議会  
志布志町 志布志町献血推進対策協議会  
鹿児島市 鹿児島相互信用金庫  
加世田市 国際ライオンズ加世田クラブ  
大口市 学校法人大口明光学園大口明光学園高等学校  
国分市 国分市立国分実業高等学校  
宮之城町 鹿児島県立宮之城高等学校

## ●昭和54年度

指宿市 指宿市献血推進連絡協議会  
日吉町 日吉町献血推進協議会  
溝辺町 溝辺町献血推進対策協議会  
松山町 松山町献血推進協議会

高山町 高山町献血推進協議会  
川内市 社団法人川内青年会議所  
鹿児島市 海上自衛隊鹿屋航空基地  
鹿児島市 鹿児島県立鹿児島東高等学校  
加世田市 学校法人希望が丘学園加世田女子高等学校  
西之表市 鹿児島県立種子島高等学校  
南種子町 鹿児島県立南種子高等学校

## ●昭和55年度

加治木町 加治木町献血推進対策協議会  
吾平町 吾平町献血推進協議会  
横川町 横川町献血推進対策協議会  
大隅町 大隅町献血推進対策協議会  
始良町 始良町献血推進対策協議会  
鹿児島市 学校法人津曲学園鹿児島経済大学  
川内市 川内総合高等職業訓練校  
鹿児島市 薩南ジーゼル工業株式会社  
阿久根市 鹿児島県立阿久根農業高等学校  
笠沙町 鹿児島県立笠沙高等学校  
鹿児島市 鹿児島県立鹿児島農業高等学校  
鹿児島市 学校法人ラ・サール学園ラ・サール高等学校  
出水市 鹿児島県立出水工業高等学校

## ●昭和56年度

栗野町 栗野町献血推進協議会  
大浦町 大浦町献血推進連絡協議会  
長島町 長島町献血推進対策協議会  
有明町 有明町献血推進対策協議会  
西之表市 新光糖業株式会社種子島本部  
鹿児島市 学校法人実践学園鹿児島女子短期大学  
〃 全国電気通信労働組合鹿児島県支部  
宮之城町 鹿児島県立宮之城農業高等学校  
加世田市 鹿児島県立加世田高等学校  
鹿児島市 学校法人原田学園鹿児島電子工業高等学校  
末吉町 鹿児島県立末吉高等学校

## ●昭和57年度

霧島町 霧島町献血推進対策協議会  
吉松町 吉松町献血推進対策協議会  
輝北町 輝北町献血推進対策協議会  
薩摩町 薩摩町献血推進連絡協議会  
国分市 学校法人坂元学園九州学院大学  
喜入町 日本石油基地株式会社喜入基地  
川内市 株式会社マーモ製作所  
長島町 鹿児島県立長島高等学校  
枕崎市 鹿児島県立枕崎高等学校  
鹿児島市 鹿児島県立錦江湾高等学校  
屋久町 鹿児島県立屋久島高等学校  
鹿児島市 学校法人城西学園鹿児島城西高等学校  
川内市 平田 富二郎

## ●昭和58年度

福山町 福山町献血推進協議会  
田代町 田代町献血推進協議会  
祁答院町 祁答院町献血推進連絡協議会  
大崎町 大崎町献血推進対策協議会  
鹿児島市 鹿児島県農業協同組合連合会  
〃 新鹿児島いすゞモーター株式会社  
〃 学校法人津曲学園鹿児島短期大学  
加治木町 学校法人鹿児島学園加治木女子高等学校  
出水市 鹿児島県立出水高等学校  
山川町 鹿児島県立山川高等学校  
有明町 鹿児島県立有明高等学校  
川内市 学校法人川島学園川内実業高等学校

●昭和59年度

串良町	串良町献血推進対策協議会
東町	東町献血推進対策協議会
財部町	財部町献血推進対策協議会
笠沙町	笠沙町献血推進連絡協議会
菱刈町	菱刈町献血推進協議会
鹿屋市	社団法人鹿屋青年会議所
〃	鹿屋専修職業訓練校
鹿児島市	全通鹿児島地方貯金支部
〃	鹿児島市立鹿児島女子高等学校
鹿屋市	鹿児島県立鹿屋工業高等学校
川辺町	鹿児島県立川辺高等学校
指宿市	指宿市立指宿商業高等学校
田代町	鹿児島県立南大隅高等学校田代分校
志布志町	学校法人川島学園志布志実業高等学校
東郷町	鹿児島県立東郷高等学校

●昭和60年度

桜島町	桜島町献血推進対策協議会
吉田町	吉田町献血推進対策協議会
垂水市	垂水市献血推進連絡協議会
鹿児島市	鹿児島城山ライオンズクラブ
〃	株式会社加根又本店
〃	九州電力株式会社鹿児島支店
宮之城町	さつま農業協同組合
串木野市	社団法人串木野青年会議所
国分市	京セラ株式会社鹿児島国分工場
鹿児島市	鹿児島市立鹿児島商業高等学校
出水市	出水市立出水商業高等学校
牧園町	鹿児島県立牧園高等学校
大隅町	鹿児島県立岩川高等学校
蒲生町	鹿児島県立蒲生高等学校
高山町	鹿児島県立高山高等学校

●昭和61年度

鹿児島市	鹿児島市交通局
〃	山形屋商事株式会社
〃	鹿児島日産自動車株式会社
〃	トヨタオート鹿児島株式会社
〃	鹿児島日野自動車株式会社
栗野町	日本楽器製造株式会社鹿児島工場
隼人町	医療法人仁心会松下病院
指宿市	指宿市立西指宿中学校 P T A
加世田市	社団法人加世田青年会議所
鹿児島市	鹿児島県立鹿児島西高等学校
加治木町	鹿児島県立加治木高等学校
志布志町	鹿児島県立志布志高等学校
鹿屋市	鹿屋市立鹿屋女子高等学校
川内市	鹿児島県立川内商工高等学校
阿久根市	鹿児島県立阿久根高等学校

●昭和62年度

山川町	山川町献血推進連絡協議会
穎娃町	穎娃町献血推進連絡協議会
開聞町	開聞町献血推進連絡協議会
郡山町	鹿児島県立甲陵高等学校
鹿児島市	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
財部町	鹿児島県立財部高等学校
川内市	鹿児島県立川内高等学校
鹿屋市	鹿児島県立鹿屋高等学校
鹿児島市	株式会社玉里自動車学校
隼人町	国立療養所霧島病院
伊集院町	鹿児島松下電子株式会社
大口市	株式会社サンコー電機
加世田市	加世田ライオンズクラブ
知覧町	清藤 陽一
隼人町	塚田 平

●昭和63年度

鹿児島市	鹿児島県立甲南高等学校
〃	薩摩マツダ株式会社
〃	社団法人鹿児島県歯科医師会鹿児島歯科学院専門学校
〃	学校法人赤塚学園赤塚ビジネス専門学校
〃	学校法人川島学園鹿児島工科専門学校
〃	株式会社タイヨー
福山町	鹿児島県立福山高等学校
佐多町	鹿児島県立南大隅高等学校佐多分校
牧園町	鹿児島県立農業大学校
末吉町	末吉ライオンズクラブ
国分市	南九州食品株式会社霧島事務所
知覧町	株式会社日本計器鹿児島製作所
川内市	全国電機通信労働組合鹿児島支部川内分会
出水市	マルイ農業協同組合
東町	牧 ナツエ

●平成元年度

鹿児島市	紫原五丁目商工会
〃	鹿児島市水道局
〃	鹿児島税務署
〃	セイカ食品株式会社
〃	九州電気工事株式会社鹿児島支店
根占町	鹿児島県立南大隅高等学校
鹿児島市	学校法人鹿児島純心女子学園鹿児島純心女子短期大学
垂水市	鹿児島県立垂水高等学校
隼人町	国立鹿児島工業高等専門学校
出水市	出水市立病院
国分市	ソニー一分セミコンダクタ株式会社
上屋久町	屋久島電工株式会社
志布志町	社団法人新大隅青年会議所
枕崎市	薩摩酒造株式会社
入来町	株式会社九州富士通エレクトロニクス

●平成2年度

鹿児島市	鹿児島県立鶴丸高等学校
樋脇町	鹿児島県立樋脇高等学校
国分市	鹿児島県畜産試験場
鹿児島市	医療法人三州会大勝病院
〃	鹿児島県農業協同組合連合会
〃	大島運輸株式会社
〃	鹿児島日産モーター株式会社
〃	鹿児島市立谷山小学校 P T A
〃	有限会社天文館薬局
金峰町	阿多准看護学院
川内市	鹿児島トヨタ自動車株式会社川内支店
宮之城町	日本特殊陶業株式会社鹿児島宮之城工場
鹿屋市	鹿屋ライオネスクラブ
志布志町	尾崎商事株式会社志布志工場
末吉町	西村 三男

●平成3年度

鹿児島市	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
隼人町	学校法人実践学園鹿児島女子大学
知覧町	株式会社鹿児島くみあい食肉南薩工場
枕崎市	社団法人枕崎青年会議所
鹿児島市	株式会社南日本新聞社
〃	財団法人昭和会今給黎総合病院
〃	財団法人鹿児島精神衛生協会横山病院
〃	九州旅客鉄道株式会社鹿児島運転所
〃	鹿児島市立宇宿小学校 P T A
〃	鹿児島市立吉野小学校 P T A
川内市	九州電力株式会社川内原子力発電所
宮之城町	宮之城ロータリークラブ
横川町	アルパーク鹿児島工業団地
大隅町	医療法人愛誠会昭南病院
大口市	合資会社山口長生堂薬局

●平成4年度

名瀬市	名瀬市献血対策推進協議会
徳之島町	徳之島町献血対策推進協議会
鹿児島市	鹿児島県立鹿児島南高等学校
天城町	学校法人時任学園徳之島商工高等学校
鹿児島市	鹿児島綜合卸商業団地協同組合
〃	株式会社測紙
〃	社団法人鹿児島共済会南風病院
〃	鹿児島谷山ライオンズクラブ
指宿市	指宿観光ホテル
加世田市	加世田市農業協同組合
川内市	社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院
阿久根市	阿久根ライオンズクラブ
吉松町	高千穂電機株式会社吉松工場
志布志町	第四港湾工事事務所
鹿児島市	宇宿町連合町内会

●平成5年度

瀬戸内町	鹿児島県立古仁屋高等学校
鹿児島市	鹿児島県美容学校
福山町	医療法人仁心会福山病院
鹿児島市	社団法人鹿児島青年会議所
〃	日本銀行鹿児島支店
〃	日本ガス株式会社
〃	医療法人慈生会八反丸病院
指宿市	指宿アロハ会
川内市	鹿児島県建設業協会川内支部
出水市	出水ライオンズクラブ
鹿屋市	九州電力株式会社鹿児島支店鹿屋営業所
上屋久町	有限会社老舗恵命堂屋久島製薬工場
鹿児島市	鹿児島市立西陵小学校 P T A
瀬戸内町	瀬戸内町献血対策推進協議会
笠利町	笠利町献血対策推進協議会

●平成6年度

徳之島町	鹿児島県立徳之島高等学校
鹿児島市	九州電子計算機専門学校鹿児島校
指宿市	株式会社指宿白水館
東市来町	株式会社協栄
宮之城町	株式会社伊地知種鶏場宮之城工場
鹿児島市	鹿児島東急ホテル
〃	医療法人八宏会河井脳神経外科病院
〃	鹿児島県警察本部
出水市	株式会社桑木組
加治木町	加治木町立柁城小学校 P T A
松山町	有限会社松山産業
垂水町	理喜ニット株式会社鹿児島工場
大口市	大口電子株式会社
川内市	川内ライオネスクラブ
宇検村	宇検村献血対策推進協議会

●平成7年度

伊仙町	鹿児島県立徳之島農業高校
鹿児島市	鹿児島県共同トラックターミナル株式会社
〃	鹿児島産機団地協同組合
〃	南九州産業団地協同組合
〃	株式会社岩崎産業
〃	鹿児島市献血推進対策協議会
指宿市	指宿市立丹波小学校 P T A
樋脇町	医療法人卓翊会市比野記念病院
高尾野町	ヤマト電子株式会社
菱刈町	医療法人柏葉会水間病院
始良町	有限会社エビスヤ(サンシティーリブレ)
屋久町	屋久島農業協同組合
宮之城町	宮之城ライオンズクラブ
大隅町	大隅ライオンズクラブ
龍郷町	龍郷町献血対策推進協議会

●平成8年度

名瀬市 鹿児島県立大島工業高等学校  
 鹿児島市 鹿児島トヨタ自動車株式会社  
 〃 日本たばこ産業株式会社  
 〃 鹿児島市立明和小学校PTA  
 加治木町 加治木町商工会  
 国分市 国分単人ライオンズクラブ  
 鹿児島市 社団法人鹿児島県薬剤師会  
 野田町 株式会社野田食鶏  
 清辺町 鹿児島空港ビル株式会社  
 天城町 南西糖業株式会社平土野工場  
 大口市 医療法人社会福祉法人単仁会  
 川内市 川内市立隈之城小学校PTA  
 鹿児島市 鹿児島市立川上小学校PTA  
 大隅町 曾於郡医師会立病院  
 住用村 住用村献血対策推進協議会

●平成9年度

頰娃町 頰娃町立頰娃准看護婦学校  
 吹上町 鹿児島県立吹上高等技術専門校  
 鹿児島市 丸山産業株式会社  
 〃 トヨタカローラ鹿児島株式会社  
 〃 社団法人鹿児島県建築協会  
 鹿屋市 鹿屋東ロータリークラブ  
 大和村 大和村献血対策推進協議会  
 西之表市 種子島地区血液備蓄所合名会社新星薬局  
 名瀬市 鹿児島県立奄美高等学校  
 日吉町 株式会社小正醸造  
 川内市 さつま川内農業協同組合  
 大崎町 株式会社ジャパンファーム  
 川内市 株式会社春園組  
 加治木町 株式会社加治木産業  
 指宿市 前園 修

●平成10年度

喜入町 株式会社九州新城  
 指宿市 国立指宿病院附属看護学校  
 川内市 陸上自衛隊川内駐屯地  
 出水市 鹿児島住特電子株式会社  
 大口市 大口市商工会  
 鹿屋市 日本電信電話株式会社NTT鹿屋支店  
 〃 富田薬品株式会社  
 大崎町 串良ロータリークラブ  
 南種子町 株式会社コスモテック種子島支店  
 名瀬市 鹿児島県立大島高等学校  
 伊仙町 伊仙町献血推進協議会  
 天城町 天城町献血推進協議会  
 鹿児島市 鹿児島市立伊敷小学校PTA  
 〃 鹿児島市立錦江台小学校PTA  
 〃 日本労働組合総連合会・鹿児島県連合会

●平成11年度

出水市 北薩森林管理署出水事務所  
 山川町 いぶすき農業協同組合  
 大口市 大口ロータリークラブ  
 知名町 鹿児島県立沖永良部高等学校  
 鹿児島市 鹿児島市立西紫原小学校PTA  
 清辺町 鹿児島高機電器工業株式会社清辺工場  
 鹿児島市 鹿児島三菱自動車販売株式会社  
 〃 株式会社中園久太郎商店  
 鹿屋市 社団法人鹿児島県建設業協会肝属支部青年部会  
 川内市 川内地区消防組合  
 知名町 知名町献血推進協議会  
 名瀬市 鶴原吉井株式会社大島店  
 鹿屋市 村屋繊維工業株式会社鹿屋工場  
 祁答院町 元田電子工業株式会社祁答院工場  
 隼人町 京セラ株式会社鹿児島隼人工場

●平成12年度

栗野町 あいら農業協同組合栗野地区本部  
 川内市 株式会社植村組川内支店  
 出水市 鹿児島県建設業協同組合連合会青年部会出水支部  
 笠利町 鹿児島県立大島北高等学校  
 鹿児島市 鹿児島市立南小学校PTA  
 〃 鹿児島市立紫原小学校PTA  
 〃 九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社  
 加治木町 医療法人玉昌会加治木温泉病院  
 上屋久町 株式会社シーサイドホテル屋久島  
 志布志町 志布志畜産株式会社  
 菱刈町 住友金属鉱山株式会社菱刈鉱山  
 喜入町 株式会社測上マイクロ喜入事業所  
 志布志町 山中薬局  
 串木野市 串木野ライオンズクラブ  
 和泊町 和泊町献血推進協議会

●平成13年度

鹿児島市 学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校  
 国分市 株式会社九州タブチ  
 鹿児島市 今別府産業株式会社  
 〃 鹿児島市管工事協同組合  
 〃 鹿児島市立玉江小学校PTA  
 〃 鹿児島南ライオンズクラブ  
 垂水市 垂水ライオンズクラブ  
 蒲生町 蒲生町商工会  
 川内市 株式会社アステム川内支店  
 頰娃町 松元機工株式会社  
 川内市 株式会社大和  
 出水市 医療法人吉祥会吉井中央病院  
 霧島町 医療法人財団浩誠会霧島杉安病院  
 有明町 曾於郡有明町農業協同組合  
 徳之島町 南西糖業株式会社徳和瀬工場

●平成14年度

指宿市 湯通堂 保  
 加世田市 富田薬品株式会社南薩営業所  
 川内市 九州電力株式会社川内発電所  
 〃 中越パッケージ株式会社鹿児島工場  
 出水市 新エネルギー・産業技術総合開発機構出水アルコール工場  
 阿久根市 橋崎 一幸  
 大口市 大口酒造協業組合  
 国分市 株式会社健康医学社鹿児島支店  
 鹿屋市 医療法人青仁会池田病院  
 西之表市 上妻 昭夫  
 入来町 鹿児島障害者職業能力開発校  
 大崎町 社会福祉法人愛生会  
 鹿児島市 鹿児島県鹿児島南警察署  
 〃 国際ソロプチミスト鹿児島  
 〃 鹿児島市立原良小学校PTA

●平成15年度

牧園町 霧島いわさきホテル  
 喜入町 いぶすき農業協同組合喜入支所  
 鹿児島市 鹿児島市刑務所  
 吉松町 鹿児島市刑務所  
 栗野町 ヤヨイ株式会社  
 鹿児島市 南日本くみあい飼料株式会社谷山工場  
 金峰町 鹿児島高機電器工業株式会社金峰本社工場  
 鹿屋市 九州化工株式会社  
 〃 南日本酪農協同株式会社鹿屋工場  
 蒲生町 有限会社高山産業  
 開聞町 医療法人赤崎会赤崎病院  
 川辺町 川辺ライオンズクラブ  
 川内市 医療法人静和会薩摩病院  
 大口市 伊佐農業協同組合  
 横川町 九州トローヨーニット株式会社  
 徳之島町 徳之島農業協同組合

●平成16年度

鹿児島市 鹿児島市立西陵中学校PTA  
 指宿市 指宿商工会議所  
 加世田市 本坊酒造株式会社津貫工場  
 鹿屋市 鹿屋市漁業協同組合  
 大隅町 その鹿児島農業協同組合  
 高山町 株式会社クリモト  
 頰娃町 いぶすき農業協同組合西部営農総合センター  
 祁答院町 アサダメッシュ株式会社鹿児島工場  
 宮之城町 鹿児島県建設業協会宮之城支部  
 東町 丸久(康)建設株式会社  
 大口市 大口菱刈ライオンズクラブ  
 加治木町 西部電気工業株式会社加治木営業所  
 国分市 国分地区消防組合消防本部  
 隼人町 株式会社野元  
 知名町 航空自衛隊第55警戒隊沖永良部島分屯基地

●平成17年度

鹿児島市 鹿児島県鹿児島西警察署  
 〃 鹿児島市立中山小学校PTA  
 さつま町 アロン電機株式会社  
 日置市 日之出紙器工業株式会社  
 知覧町 鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社知覧工場  
 阿久根市 社団法人出水郡医師会立阿久根市民病院  
 牧園町 国立大学法人鹿児島大学医学部・歯学部  
 附属病院霧島リハビリテーションセンター  
 吾平町 鹿児島部品株式会社  
 高山町 高山ロータリークラブ  
 西之表市 有限会社ギンザ薬局  
 薩摩川内市 樋脇精工株式会社  
 指宿市 株式会社指宿フェニックスホテル  
 〃 株式会社指宿ロイヤルホテル  
 菱刈町 スカラー株式会社九州工場  
 和泊町 町田建設株式会社

●平成18年度

鹿児島市 鹿児島情報ビジネス専門学校  
 〃 鹿児島市立大明丘小学校PTA  
 鹿屋市 株式会社丸栄  
 大口市 医療法人恵名会整形外科松元病院  
 指宿市 株式会社指宿シーサイドホテル  
 西之表市 協同組合西之表ショッピングセンターサンシード  
 垂水市 垂水市立医療センター垂水中央病院  
 薩摩川内市 医療法人樟南会中郷病院  
 霧島市 国分ロータリークラブ  
 〃 国分中央ロータリークラブ  
 志布志市 南日本くみあい飼料株式会社志布志工場  
 頰娃町 薩摩酒造株式会社頰娃蒸溜所  
 知覧町 南さつま農業協同組合本所  
 東串良町 志布志石油備蓄株式会社志布志事業所  
 和泊町 医療法人徳洲会沖永良部徳洲会病院

●平成19年度

鹿児島市 南国殖産株式会社  
 〃 学校法人原田学園鹿児島ハイテク専門学校  
 〃 鹿児島ライオンズクラブ  
 日置市 シチズンセイミツ鹿児島株式会社  
 指宿市 指宿市建設業組合  
 大口市 大口伊佐医師会立看護学校  
 鹿屋市 医療法人恒心会小倉記念病院  
 〃 株式会社サクラクレパス鹿児島工場  
 志布志市 医療法人共生会  
 奄美市 学校法人日章学園奄美看護福祉専門学校  
 頰娃町 医療法人至誠会中村温泉病院  
 加治木町 独立行政法人国立病院機構南九州病院  
 長島町 株式会社長崎組  
 上屋久町 Aコープ宮之浦店  
 伊仙町 南西糖業株式会社徳之島事業本部伊仙工場

●平成20年度

鹿児島市 学校法人久木田学園看護専門学校  
 指宿市 九州電力株式会社山川発電所  
 南九州市 知覧ライオンズクラブ  
 日置市 メテック九州株式会社  
 いちき串木野市 Aコープ串木野店  
 薩摩川内市 薩摩川内ロータリークラブ  
 〃 薩摩川内市立可愛小学校 P T A  
 出水市 出水市消防本部  
 大口市 大口建設業協同組合青年部会  
 志布志市 大黒グループ  
 鹿屋市 P T A横山育成会  
 〃 株式会社新生社印刷  
 肝付町 株式会社クリモト  
 屋久島町 屋久島いわさきホテル

●平成21年度

鹿児島市 鹿児島市中央卸売市場青果食品協同組合  
 〃 喜入ライオンズクラブ  
 枕崎市 タイヨー枕崎店  
 日置市 医療法人昭泉会馬場病院  
 薩摩川内市 株式会社宇都組  
 さつま町 薩摩郡医師会病院  
 〃 医療法人クオア  
 出水市 ブラッセだいわ出水店  
 伊佐市 伊佐湧水消防組合  
 霧島市 株式会社ヤマウ鹿児島工場  
 加治木町 始良郡西部消防組合  
 鹿屋市 鹿児島きもつき農業協同組合  
 〃 株式会社 J A 食肉かごしま鹿屋工場  
 肝付町 肝付町商工会  
 屋久島町 医療法人徳洲会屋久島徳洲会病院

●平成22年度

指宿市 医療法人慈光会宮箇病院  
 霧島市 株式会社ホテル京セラ  
 南さつま市 南さつま農業協同組合川辺支所  
 始良市 ヤマト運輸株式会社鹿児島主管支店  
 いちき串木野市 Aコープ大里店  
 鹿屋市 大隅肝属地区消防組合  
 薩摩川内市 川内市医師会立市民病院  
 西之表市 社会医療法人義順顕彰会田上病院  
 薩摩川内市 鹿児島県薩摩川内警察署  
 天城町 あまみ農業協同組合天城事業本部  
 伊佐市 医療法人栄和会寺田病院  
 鹿児島市 財団法人慈愛会今村病院  
 霧島市 鎌田建設株式会社  
 鹿児島市 株式会社エビハラ

●平成23年度

鹿児島市 宗教法人照国神社  
 〃 鹿児島県土地改良事業団体連合会  
 〃 九州農政局鹿児島農政事務所  
 〃 鹿児島国際観光株式会社  
 〃 株式会社エスライン九州  
 〃 NHK鹿児島放送局  
 指宿市 医療法人全隆会指宿竹元病院  
 南九州市 医療法人菊野会菊野病院  
 薩摩川内市 国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所  
 出水市 JA鹿児島いずみ本所  
 屋久島町 Aコープ尾の間店  
 伊佐市 かごしま中部農業共済組合伊佐支所

●平成24年度

指宿市 タイヨー指宿店  
 伊佐市 大口自動車学校  
 鹿屋市 社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院  
 〃 ブラッセだいわ鹿屋店  
 〃 鹿屋商工会議所  
 〃 大海酒造株式会社  
 〃 三和物産株式会社緑化事業部  
 〃 鹿屋市上下水道部  
 霧島市 株式会社国分単人衛生公社  
 始良市 学校法人川島学園鹿児島建設専門学校  
 いちき串木野市 有限会社新興産業  
 日置市 日置市消防本部

●平成25年度

指宿市 医療法人浩然会指宿浩然会病院  
 南さつま市 Aコープサザウィン店  
 日置市 日置中央ライオンズクラブ  
 薩摩川内市 山元酒造株式会社  
 始良市 株式会社イケダパン重富工場  
 霧島市 あいら農業協同組合  
 阿久根市 スターゼンミートプロセッサ株式会社阿久根工場  
 鹿児島市 株式会社ダイエー鹿児島谷山店  
 霧島市 イオン九州株式会社イオン単人国分店  
 鹿児島市 株式会社アステム鹿児島営業部  
 始良市 西日本高速道路株式会社九州支社鹿児島高速道路事務所  
 鹿児島市 鹿児島中央警察署  
 南九州市 颯娃ロータリークラブ  
 薩摩川内市 株式会社岡野エレクトロニクス

●平成26年度

薩摩川内市 薩摩川内市消防団  
 日置市 医療法人博悠会博悠会温泉病院  
 霧島市 サンキュー隼人店  
 〃 旭交通株式会社  
 鹿児島市 南九州酒販株式会社  
 〃 鹿児島市タクシー協会

●平成27年度

伊佐市 スーパーセンターニシムタ大口店  
 鹿屋市 鹿屋第一ライオンズクラブ  
 〃 コープかのや店  
 和泊町 鹿児島県沖永良部警察署  
 いちき串木野市 鹿児島県立串木野養護学校  
 鹿屋市 国立療養所星塚敬愛園  
 南九州市 社会福祉法人更生会  
 奄美市 鹿児島県奄美警察署  
 湧水町 株式会社タテノ九州工場  
 始良市 加治木ライオンズクラブ  
 さつま町 鹿児島県立宮之城高等技術専門学校  
 出水市 出水ロータリークラブ  
 鹿児島市 株式会社南日本情報処理センター

●平成28年度

日置市 株式会社大木吹上工場  
 伊佐市 医療法人慈和会大口病院  
 鹿屋市 医療法人秋津会徳田脳神経外科病院  
 薩摩川内市 田苑酒造株式会社  
 天城町 九州農政局徳之島用水農業水利事業所  
 霧島市 株式会社トヨタ車体研究所  
 始良市 鹿児島県始良警察署  
 曾於市 曾於農業共済組合  
 鹿児島市 国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所

●平成29年度

伊佐市 大口酒造株式会社第二蒸溜所  
 いちき串木野市 三井串木野鉱山株式会社  
 徳之島町 医療法人徳洲会徳之島徳洲会病院  
 鹿児島市 社会福祉法人向陽会  
 〃 リコージャパン株式会社販売事業本部鹿児島支社  
 〃 国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局  
 奄美市 名瀬ライオンズクラブ  
 鹿屋市 株式会社きたやま  
 〃 株式会社鹿屋寿自動車学校  
 霧島市 医療法人松城会  
 指宿市 医療法人明正会今林整形外科病院  
 始良市 医療法人七徳会ザ王病院

●平成30年度

南さつま市 南さつま市消防本部  
 いちき串木野市 濱田酒造株式会社  
 薩摩川内市 川内第一ライオンズクラブ  
 長島町 長島ライオンズクラブ  
 奄美市 奄美信用組合  
 〃 九州電力株式会社鹿児島配電センター奄美配電事業所

●令和元年度

枕崎市 医療法人厚生会立神リハビリテーション温泉病院  
 いちき串木野市 市来建設業互助会  
 鹿児島市 医療法人一誠会三宅病院  
 始良市 社会医療法人青雲会  
 指宿市 サンキュー北指宿店  
 鹿児島市 上村石油ガス株式会社

●令和2年度

枕崎市 医療法人厚生会小原病院  
 南さつま市 鹿児島トヨペット株式会社加世田店  
 鹿児島市 株式会社ヒガシマル  
 いちき串木野市 医療法人南洲会南洲整形外科病院  
 出水市 サンキュー出水店  
 奄美市 鹿児島県建設業青年部会奄美支部

●令和3年度

南さつま市 医療法人真愛みどり会真愛病院  
 日置市 株式会社明興テクノス日置工場  
 〃 吹上ライオンズクラブ  
 阿久根市 Aコープ三笠店  
 始良市 医療法人碩済会加治木記念病院  
 指宿市 指宿酒造株式会社  
 鹿屋市 鹿屋ライオンズクラブ

●令和4年度

薩摩川内市 九州電力株式会社川内営業所  
 〃 九州電力送配電株式会社川内配電事業所  
 薩摩川内市 鶴の町商工会  
 伊佐市 伊佐湧水警察署  
 南さつま市 有限会社南薩東京社

●令和5年度

南九州市 株式会社マキオAZかわなべ  
 伊佐市 県立北薩病院  
 錦江町 肝属郡医師会立病院  
 屋久島町 屋久島空港ターミナルビル株式会社  
 始良市 加治木ロータリークラブ

●令和6年度

南九州市 インフラテック株式会社南薩工場  
 鹿屋市 国立大学法人鹿屋体育大学

## 15. 血液センターの沿革（主要事項）

昭和39年10月16日	鹿児島県血液対策推進協議会発足。
昭和39年12月10日	初代所長に太原春雄氏就任。
昭和39年12月27日	(財)日本船舶振興会及び県補助金により製作された献血バス1台が配車され「博愛1号」と命名。
昭和40年1月25日	鹿児島市下荒田町44番地、化血研鹿児島血液銀行内を設置場所として、必要な許可を受け業務開始。
昭和40年2月10日	献血バス運行開始（鹿児島市立商業高校）。
昭和40年3月31日	昭和39年度1年間の献血者355人を記録。
昭和40年9月30日	太原春雄所長退任
昭和40年10月1日	馬場弘志所長就任
昭和41年3月31日	昭和40年度1年間の献血者11,197人を記録。
昭和41年9月10日	日赤鹿児島県支部構内（郡元3-2-1）に血液センター新社屋建築着工。
昭和42年1月31日	本社交付金、県補助金、支部繰出金により新社屋完成（本館316,928㎡車庫66,248㎡）。
昭和42年3月1日	新血液センターのすべての許可を受け業務開始。
昭和42年4月1日	鹿児島県医薬品卸業協同組合と保存血液の配給委託契約を締結。
昭和42年5月10日	献血運搬車、マイクロバス各1台を整備。
昭和42年11月1日	(財)日本船舶振興会及び県補助金により製作された献血バス1台が配車され「博愛2号」と命名。
昭和43年3月15日	車庫増築（増築分67,500㎡）
昭和43年3月31日	馬場弘志所長退任
昭和43年4月1日	萬年常夫所長就任
昭和43年5月28日	第1回種子島地区移動採血実施。
昭和44年2月18日	献血運搬車を整備し、緊急車の指定を受ける。
昭和44年6月9日	開所以来10万人目の献血者。
昭和44年11月8日	鹿児島県学生献血推進会結成。
昭和45年2月15日	鹿児島県生命保険協会よりマイクロバス1台が寄贈される。
昭和45年2月15日	第1回屋久島地区移動採血実施。
昭和45年4月20日	車庫増築（108㎡）
昭和45年6月8日	県立大島病院内に出張所を開設し、奄美地区用保存血液の備蓄開始。県立鹿屋病院内に出張所を開設し、大隅地区用保存血液の備蓄開始。
昭和45年8月	鹿児島県学生献血推進会との共催により第1回県下1周献血推進キャラバン実施。
昭和45年11月10日	(財)日本船舶振興会及び県補助金により製作された献血バスが博愛1号の更新車として配車され「博愛3号」と命名。
昭和46年4月1日	献血者とその家族（3親等内）に自己負担分給付開始。
昭和46年7月16日	第1回鹿児島県献血推進大会開催。
昭和46年10月20日	川内地区緊急血液を済生会川内病院に備蓄。
昭和46年10月20日	県補助金で冷蔵庫付献血運搬車を整備。
昭和47年1月～	H B s 抗原検査（I E P法）開始。
昭和47年4月～	H B s 抗原検査（S R I D法）開始。
昭和47年6月22日	第1回保健所・市町村献血推進担当者研修会開催。
昭和47年7月25日	名瀬出張所の待合室及び採血ベッドを県費補助にて増改築。
昭和47年12月10日	検査室6.35㎡増築
昭和48年3月10日	(財)日本船舶振興会及び県補助金により製作された献血バスが博愛2号の更新車として配車され「博愛5号」と命名。
昭和48年4月1日	南薩地区用緊急血液を枕崎市立病院内に備蓄。
昭和48年5月1日	始良地区用緊急血液を国分市林薬品に備蓄。
昭和48年6月17日	鹿児島県Rh(-)友の会発足。
昭和48年7月11日	日赤名誉副総裁常陸宮妃殿下の御臨場を得て、第9回献血運動推進全国大会を文化センターにて開催。
昭和48年7月11日	ライオンズクラブより渉外広報車「サニー号」寄贈される。
昭和49年7月	「ボッケモン」尾辻秀久氏1日所長に就任。
昭和49年9月1日	出水地区用緊急血液を出水市立病院に備蓄。
昭和49年9月29日	開所以来30万人目の献血者。
昭和49年11月1日	大口地区用緊急血液を大口市森山薬局に備蓄。
	加世田地区用緊急血液を三開社加世田営業所に備蓄。
昭和50年5月1日	指宿地区用緊急血液を国立指宿温泉中央病院に備蓄。
	志布志地区用緊急血液を国立志布志療養所に備蓄。
昭和50年6月30日	献血者休養室15.95㎡を成分製剤製造室に改造。浴室、物品庫を自動分析機室に改造。

昭和50年9月30日	献血者へのサービスとしての血液検査開始。
昭和50年10月1日	万年常夫所長退任
昭和50年10月1日	竹下一雄所長就任
昭和50年10月11日	生化学検査結果を異常者へ通知開始。
昭和50年10月30日	鹿児島県生命保険協会より献血運搬車の寄贈を受け、緊急車の指定をうけ「生命保険1号車」と命名。
昭和50年12月20日	宝くじ協会より献血バス「宝くじ号」が寄贈される。
昭和51年5月9日	血液成分製剤の製造開始。
昭和51年5月10日	竹下一雄所長退任
昭和51年7月1日	折田二男所長就任
昭和51年10月11日	大口血液備蓄所、森山薬局より山口長生堂薬局に変更。
昭和51年11月15日	鹿児島県生命保険協会より献血運搬車の寄贈を受け、「信用金庫号」と命名。
昭和51年11月25日	鹿児島トヨタカローラ株式会社より献血運搬車の「愛のカローラ号」が寄贈される。
昭和52年4月1日	県立鹿屋病院内の血液備蓄を三開社鹿屋支店に変更。
昭和52年11月24日	鹿児島市鴨池新町1番5号地に新社屋が完成し、すべての許可を受け業務開始（本社交付金、県補助金、市町村補助金、自己資金で建設）。
昭和53年4月1日	種子島地区用血液を西之表市市丸薬局に備蓄。
昭和53年4月22日	学術講演会「成分製剤について」を開催（講師、細井京都血液センター所長）。
昭和53年4月～	H B s 抗原検査（R P H A 法）開始。
昭和53年7月10日	鹿児島大学附属病院内に保存血液及び成分製剤の備蓄開始。
昭和53年7月16日	開所以来50万人目の献血者。
昭和53年12月22日	（財）日本船舶振興会及び県補助金にて製作された献血バスが博愛3号の更新車として配車され、引き続き「博愛3号」と命名。
昭和54年2月11日	城山ライオンズクラブより涉外・広報車が寄贈され、「城山ライオンズ号」と命名。
昭和54年10月31日	鹿児島銀行創立100周年記念事業として、献血運搬車「かぎん号」の寄贈を受ける。
昭和54年12月1日	川内地区用緊急血液を済生会川内病院に加えヤナイ薬品川内支店に備蓄。
昭和55年2月23日	学術講演会「輸血の問題点」開催（講師、遠山東京大学輸血部長）。
昭和55年4月1日	県の委託を受け、血液低比重検査開始。
昭和55年8月31日	県立鹿屋病院内の鹿屋出張所を廃止。
昭和55年9月30日	県立大島病院内の名瀬出張所廃止。
昭和55年10月1日	大島地区用緊急血液を鶴原吉井大島支店に備蓄開始。
昭和55年12月10日	新車庫完成（鉄骨平屋建スレートぶき150㎡）。
昭和55年12月23日	（財）日本船舶振興会及び県補助金にて献血バスが整備され、「博愛6号」と命名。
昭和56年2月16日	枕崎地区備蓄所を市立病院よりかめや薬局に移転。
昭和56年4月1日	生化学検査結果を全献血者へ通知。
昭和56年6月25～27日	学術講演会「最近の輸血治療学の動向」開催（講師、福岡良男日赤本社顧問）。
昭和56年8月19日	検診車購入、「いとすぎ1号」と命名。
昭和56年11月16日	奄美大島地区移動採血を9年ぶり再開。
昭和56年11月30日	（株）日本石油より献血運搬車「ミスターセーフティ号」の寄贈を受ける。
昭和56年12月16日	始良郡加治木町の梅北吉井始良店に血液備蓄開始。
昭和57年2月20日	茨城県赤十字血液センターより献血バス（中古）を譲り受け、「博愛5号」と命名。
昭和57年2月26日	血液センター（395㎡）の増築工事（供給製剤部門）完了。
昭和57年3月30日	城山ライオンズクラブより献血運搬車「城山ライオンズ号」の寄贈を受ける。
昭和57年4月1日	全国的に献血手帳の供給欄を削除する。
昭和57年10月28日	（財）日本船舶振興会及び県補助金にて献血バス「博愛1号」を更新整備。
昭和57年11月8日	第1回徳之島地区移動採血実施。
昭和57年11月20日	（株）日本石油より献血運搬車「ミスターセーフティ号」の寄贈を受ける。
昭和58年3月23日	検診車購入、「いとすぎ2号」と命名。
昭和58年9月21日	開所以来100万人目の献血者。
昭和58年9月22日	日本宝くじ協会より献血バスの寄贈を受け、「博愛5号」と命名。
昭和58年10月1日	血漿分画センターに分画用原料血漿の送付開始。
昭和58年10月25日	（株）日本石油より献血運搬車「ミスターセーフティ号」2台の寄贈を受ける。
昭和59年3月28日	車庫及び倉庫（623.55㎡）増築
昭和59年7月3日	曾於郡医師会病院に血液製剤の備蓄を開始。
昭和59年7月18日	西之表市市丸薬局の血液備蓄を新星薬局に変更。
昭和59年7月23日	血漿分画製剤“アルブミン日赤”の供給開始。

昭和59年10月1日	濃厚血小板血漿の有効期限が採血後48時間になる。
昭和59年11月20日	県補助金にて「博愛2号」を更新整備。
昭和59年11月30日	済生会川内病院の血液備蓄所閉鎖。
昭和60年1月25日	血液センター創立20周年記念誌発行。
昭和60年4月1日	国立療養所志布志病院の血液備蓄を志布志山中薬局に変更。
昭和60年5月24日	KTB開発(株)より広報車の寄贈を受ける。
昭和61年2月1日	鹿児島市に「献血ルーム・天文館」を開設する。
昭和61年2月17日	HTLV-1抗体検査を開始。
昭和61年4月1日	400mL献血開始。
昭和61年5月17日	串木野市で1日の最高献血者1,483人達成する。
昭和61年7月16日	成分献血開始。
昭和61年9月1日	400mL及び成分献血者へ献血健康手帳の交付と血球計数検査通知を開始。
昭和61年9月30日	1階・2階(280.4㎡)増築完了。
昭和61年10月23日	HIV抗体検査開始。
昭和61年11月27日	献血バス「博愛2号」を更新整備。
昭和61年12月20日	自動検査機オリンパスPK7100を整備。
昭和62年3月17日	開所以来150万人目の献血者。
昭和62年3月27日	化血研へ原料血漿の送付開始。
昭和62年3月30日	折田二男所長退任
昭和62年4月1日	迫尚所長就任
昭和62年4月13日	母体での成分献血日を毎週月・水・金開始。
昭和62年6月20日	検査サービスに使用する自動分析装置オリンパスACA8000を装備。
昭和62年8月1日	濃厚血小板「日赤」の有効期間が48時間から72時間に延長される。
昭和62年8月13日	日本宝くじ協会寄贈による献血バスを整備し、「博愛3号」と命名。
昭和62年12月1日	HBs抗原陽性者へ検査結果の通知開始。
昭和63年4月1日	経理、用度業務をシステム化。
昭和63年5月1日	輸血によるエイズ感染防止のため献血者自己申告制の開始。
昭和63年10月28日	鹿児島県生命保険協会寄贈による献血運搬車を整備し、「生命保険号」と命名。
昭和63年11月30日	新鮮凍結血漿保管用大型冷凍庫の整備。
平成元年1月17日	「献血ルーム・天文館」開設以来献血者10万人突破。
平成元年3月18日	「献血ルーム・天文館」増築改装工事完了。
平成元年6月1日	検査、製剤及び供給の各業務をシステム化。
平成元年11月29日	県補助金等で献血バス「博愛4号」を更新整備。
平成元年12月12日	献血バスでの成分献血開始。
平成元年12月27日	HCV抗体及びHBc抗体の検査開始。
平成2年3月23日	成分献血者受入れのための献血ルーム増築改装。
平成2年3月31日	凝固因子製剤用の原料血漿保管のため冷凍室を整備。
平成2年4月1日	業務、渉外及び検査サービス通知の各業務をシステム化。
平成2年6月5日	献血バス「博愛6号」を成分献血受入に改造。
平成2年7月13日	濃厚血小板HLA「日赤」及び高単位濃厚血小板「日赤」の供給開始。
平成2年9月7日	開所以来献血者200万人突破。
平成2年9月29日	東亜医用電子(株)寄贈による献血運搬車を整備。
平成3年2月2日	鹿児島県輸血医療懇話会を開催(鹿児島大学医学部附属病院輸血部と共催)。
平成3年2月18日	オープン採血開始(大根占町)。
平成3年4月1日	供給課に医薬情報係を新設。採血基準の一部改正。
平成3年4月2日	血漿分画センターへ血液凝固因子製剤の製造用原料血漿の送付開始。
平成3年10月23日	県補助金及び日本宝くじ協会寄贈による献血バス「博愛1号」「博愛2号」を成分専用車として更新整備。
平成4年1月6日	鹿児島県骨髓データセンターを設立。
平成4年3月31日	迫尚所長退任
平成4年4月1日	津崎文雄所長就任
平成4年4月7日	クロスエイトMの供給開始。
平成4年5月7日	赤血球M.A.P「日赤」の製造開始。
平成4年8月1日	HCV抗体陽性者へ検査結果の通知を開始。
平成4年10月26日	献血運搬車「大鵬号」の寄贈を受ける。
平成4年11月7日	「MBCラジオデー1107献血キャンペーン」で、1,500人の一日最高献血者を記録。

平成5年4月1日	血液事業統一システム導入準備開始。
平成5年5月29日	鹿児島県学生献血推進協議会発会式。県内大学、短期大学、専門学校6校の学生で組織。
平成5年8月6日	8.6豪雨水害により献血バス「博愛6号」が、伊集院町で被害を受け廃車。北九州赤十字血液センターから献血バスを借用し年度末までの稼働。
平成5年11月13日	献血推進特別対策事業による「献血シンポジウム」の開催。
平成5年11月24日	献血推進特別対策事業による「県下一周・学生キャラバン」の実施。県学生献血推進協議会の学生を中心に南薩、北薩始良、大隅の3コースに分かれ県下各市町村を訪問。
平成5年12月19日	献血推進特別対策事業による「さわやか鹿児島献血フェスティバル」を鹿児島市民文化ホールで開催。
平成6年2月10日	城山ライオンズクラブより献血運搬車の寄贈を受ける。
平成6年2月21日	献血バス「博愛6号」を更新整備。
平成6年3月1日	HIV-2の抗体検査開始。
平成6年3月31日	血液事業統一システム導入に伴う機器の搬入及び情報管理室等の改装整備。
平成6年3月31日	輸血用血液X線照射装置(MBR-1520-TW型)導入のため、放射線照射室を設置。
平成6年7月1日	血液事業統一システム稼働開始。
平成6年7月30日	学生献血推進事業(県費)による「献血夏季セミナー」を吹上浜海浜公園で開催。
平成6年10月9日	(財)日本宝くじ協会寄贈による献血バス「博愛5号」を更新整備。
平成6年12月5日	献血バス「博愛2号」廃車に伴い、1台減車となる。
平成7年1月23日	阪神淡路大震災の第1次、第2次救護班出動。救護要員として職員2名、献血運搬車2台派遣。
平成7年2月10日	創立30周年記念キャンペーン開催(血液センター、献血ルーム、稼働採血現場で実施)。
平成7年5月7日	世界赤十字キャンペーンイベント“ふれあいランド”開催。
平成8年2月5日	「献血ルーム・天文館」改装工事開始(改装期間中は三井生命ビル4Fに仮移転)。
平成8年3月2日	「献血ルーム・天文館」10周年リフレッシュオープン。
平成8年6月29日	問診強化に伴い血液センター献血者待合室及び採血室等改装工事。
平成8年8月25日	'96赤十字ふれあいランド血液センターキャラクター発表「エビオ(ABO)」と命名。
平成8年9月12日	中国江蘇省衛生代表団一行9名血液センター視察のため来所。
平成8年10月21日	鹿児島県生命保険協会より献血運搬車(クラウン)の寄贈を受ける。
平成8年12月2日	備蓄所コンピュータ新システム稼働(県内10ヶ所)。
平成9年1月2～3日	初詣献血の実施(照國神社境内)。献血者232人。
平成9年3月24日	献血受付検診車(大型)を整備「エビオ号」と命名。
平成9年6月1日	枕崎地区備蓄所をかめや薬局より小原病院に移転。
平成9年12月1日	鳥取県赤十字血液センター保有の宝くじ号(中型)を保管換えにより、「博愛3号」として更新整備。
平成10年2月1日	北九州赤十字血液センター保有の宝くじ号(中型)を保管換えにより、「博愛2号」として更新整備。
平成10年2月20日	放射線照射室等(55.58㎡)の増築工事。
平成10年3月31日	津崎文雄所長退任
平成10年4月1日	川嶋望所長就任
平成10年6月1日	枕崎地区備蓄所を小原病院より枕崎市立病院に移転。
平成10年6月19日	放射線照射輸血用血液「薬価基準」に収載。
平成10年12月14日	献血者300万人達成。
平成11年1月27日	お年玉年賀葉書寄附金による献血バス「博愛4号」を更新整備。
平成11年2月11日	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
平成11年4月1日	採血基準の改正により献血上限年齢を69歳まで引き上げ。
平成11年4月1日	HTLV-1抗体陽性献血者への通知開始。
平成11年4月1日	献血者全国一元管理システム開始。
平成11年5月1日	血液センターホームページ開設。
平成11年9月11日	500検体プールでHBV・HCV・HIVに対するNAT(核酸増幅検査)スクリーニング開始。
平成12年1月11日	お年玉年賀葉書寄附金による献血バス「博愛2号」を更新整備。
平成12年2月1日	NAT(核酸増幅検査)スクリーニングを50検体プールに変更。
平成12年4月1日	阿久根地区備蓄所を阿久根市民病院に備蓄開始。
平成12年7月5日	種子島地区血液備蓄所を新星薬局よりギンザ薬局に移転。
平成12年8月20日	赤十字会館(血液センター)増改築工事竣工。
	ア 建物(県赤十字会館・支部を含む)
	鉄筋コンクリート造 5階建
	増築・増床面積 2,325.537㎡
	改修面積 2,114.010㎡
	[増改築後の延床面積] 5,247.688㎡
	イ 車庫棟

鉄骨平屋建（屋上駐車場）

増築面積 650.000㎡

平成12年10月1日	九州ブロック赤十字血液センター連盟ホームページ開設。URL <a href="http://www.bc9.org">http://www.bc9.org</a>
平成13年7月1日	血液センター情報誌「A B O ネット」創刊。
平成14年2月1日	Eメール・携帯電話献血登録制度開始。
平成14年7月31日	「改正薬事法」及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が制定される。
平成14年10月4日	「献血ルーム・天文館」開設以来献血者50万人突破。
平成14年12月11日	株式会社健康家族の補助金により献血受付・検診車を整備。
平成15年3月31日	川嶋望所長退任
平成15年4月1日	前田芳夫所長就任
平成15年7月30日	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」の施行。
平成15年12月16日	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
平成16年1月30日	新鮮凍結血漿の60日間貯留保管分供給開始。
平成16年5月30日	第二次血液事業統一システムの導入運用開始。
平成16年8月1日	NAT（核酸増幅検査）スクリーニングを20検体プールに変更。
平成16年8月31日	新鮮凍結血漿の90日間貯留保管分供給開始。
平成16年10月25日	平成16年10月25日採血分より成分採血由来血小板製剤の保存前白血球除去を開始。
平成16年12月28日	新鮮凍結血漿の120日間貯留保管分供給開始。
平成17年1月31日	始良地区血液備蓄所（鶴原吉井始良店）を閉鎖。
平成17年3月31日	第二次血液センター備蓄所管理システムの導入、運用開始。
平成17年3月31日	志布志地区血液備蓄所（山中薬局）を閉鎖。
平成17年3月31日	新鮮凍結血漿の150日間貯留保管分供給開始。
平成17年7月29日	新鮮凍結血漿の180日間貯留保管分供給開始。
平成17年9月7日	台風14号災害救護活動要員として職員5名を派遣。
平成18年3月1日	成分採血由来血小板製剤の1・2単位製剤製造開始。
平成18年3月1日	成分採血由来血漿製剤の保存前白血球除去開始。
平成18年3月25日	献血協力者複数回献血クラブ「A B O（エビオ）献血クラブ」発足。
平成18年6月1日	「献血ルーム・天文館」全面改修工事開始。
平成18年7月1日	「献血ルーム・天文館」リニューアルオープン。
平成18年8月28日	日赤ポリグロビン供給開始。
平成18年10月1日	献血者健康被害救済制度開始。
平成18年10月1日	献血手帳を磁気型献血カードに変更。
平成18年11月30日	献血バス「博愛5号」の廃車に伴い、1台減車となる（保有台数5台）。
平成19年1月16日	全血採血由来血液製剤の保存前白血球除去開始。
平成19年2月1日	採血時初流血液除去開始。
平成19年11月8日	日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下血液センターご視察。
平成19年11月30日	九州ブロックの検査・製剤集約施設として日本赤十字社九州血液センター竣工。
平成20年1月1日	検査業務を九州血液センターに集約。
平成20年1月20日	赤帽鹿児島県軽自動車運送協同組合より、母体ロビー用テレビ機器の寄贈を受ける。
平成20年3月31日	鹿児島センターにおける医薬品製造業を廃止。
平成20年3月31日	前田芳夫所長退任
平成20年4月1日	吉田紀子所長就任
平成20年4月1日	製剤業務を九州血液センターに集約。
平成20年4月1日	かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザかもいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン。
平成20年11月28日	種子島地区血液備蓄所をギンザ薬局より田上病院に移転。
平成20年12月1日	鹿児島南ロータリークラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
平成21年2月11日	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
平成21年3月15日	生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査にかえ、G A（グリコアルブミン：糖尿病関連）検査を導入。
平成21年3月23日	凝固因子製剤用の原料血漿作業室を設置。
平成21年4月23日	「献血プラザかもいけクロス」採血室の漏電による火災のため一時閉所。
平成21年7月1日	「献血プラザかもいけクロス」リニューアルオープン。
平成22年2月1日	採血事前検査について硫酸銅液に代わるヘモグロビン測定器導入。
平成22年7月31日	枕崎地区血液備蓄所（枕崎市立病院内）を閉鎖。
平成22年10月21日	奄美大島大雨災害救護班出動、救護班要員として職員1名を派遣。
平成22年11月27日	「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン。

平成23年3月15日	東日本大震災救護班出動、鹿児島県支部第1次救護班要員として職員1名を派遣（その後、こころのケア班まで含め累計4名を派遣）。
平成23年4月1日	採血基準の一部改正（400ml献血の年齢基準下限が男性17歳となる。血小板成分献血の年齢基準上限が男性69歳となる）。 問診票の質問事項を14項目から23項目に改訂。
平成23年4月30日	献血者400万人達成。
平成23年7月30日	「けんけつ応援隊」発足。
平成23年8月31日	鹿屋地区血液備蓄所（鹿屋富田薬品）、曾於地区血液備蓄所（曾於郡医師会立病院）閉鎖。
平成23年9月1日	鹿屋出張所開設。
平成23年11月30日	川内地区血液備蓄所（アステム川内支店（旧ヤナイ薬品川内支店））閉鎖。
平成23年12月1日	川内出張所開設。
平成24年4月1日	血液事業の広域運営体制開始（各都道府県の血液センター単位による事業運営体制から、ブロックを単位とする広域的な事業運営体制へ移行）。 広域事業運営体制による血液センター組織改正。地域センターとして位置づけられる。
平成24年8月15日	HBc抗体検査（CLEIA法判定基準）の変更。
平成25年1月15日	献血同意書（インフォームドコンセント）による確認を開始。
平成25年1月25日	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足。
平成25年1月30日	立体駐車場（3階4層：公用車含142台収容）完成。
平成25年9月3日	新鮮凍結血漿-LR（120、240、480）の供給開始。
平成26年1月8日	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
平成26年2月1日	宮崎県串間市への血液供給を開始（県境を越えた供給）。
平成26年5月28日	血液事業情報システム本稼働。
平成26年8月1日	製造所出荷分より赤血球製剤の名称変更（IrRCC-LRからIrRBC-LR）。 個別検体によるNAT（個別NAT）スクリーニングを開始。
平成26年11月4日	成分採血装置「トリマアクセル」による分割血小板採血の開始。
平成27年2月14日	鹿児島県赤十字血液センター創立50周年式典挙行。
平成27年3月31日	一般社団法人日本血液製剤機構と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了。
平成27年3月31日	吉田紀子所長退任
平成27年4月1日	榮鶴義人所長就任
平成27年12月1日	医療機関での赤血球抗原情報検索システム開始。
平成28年2月1～14日	「献血ルーム・天文館」開設30周年記念キャンペーン開催。
平成28年4月1日	生化学検査のALT基準値変更。
平成28年4月1日	抗原陰性血の確認検査廃止。
平成28年4月16日	平成28年熊本地震災害救護活動（5/8～6/2の間に血液センターより災害対策本部要員及び救護班要員として主事4名を派遣）。
平成28年7月1日	固定施設の定休日を変更（献血プラザかもいけクロス：木曜定休、献血ルーム・天文館：金曜定休）。
平成28年9月13日	照射洗浄血小板-LR「日赤」販売開始。
平成29年3月15日	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
平成29年3月31日	加世田地区血液備蓄所（富田薬品南薩営業所）、大口地区血液備蓄所（山口長生堂薬局）及び出水地区血液備蓄所（出水総合医療センター）閉鎖。
平成29年4月1日	不規則抗体スクリーニングの生食法、酵素法の廃止。
平成29年7月11日	鹿児島湾喜入付近を震源とする地震（震度5）により採血施設を閉所。
平成29年9月30日	国分地区血液備蓄所（アトル国分支店）閉鎖。
平成29年10月1日	県内医療機関への血液製剤発注システム導入開始。
平成29年10月3日	原料血漿の貯留保管期間を6か月間（180日間）から4か月間（120日間）へ変更。
平成29年12月31日	指宿地区血液備蓄所（国立病院機構指宿医療センター）閉鎖。
平成30年1月1日	「献血ルーム・天文館」開設以来、初めて元日を閉所。
平成30年3月31日	阿久根地区血液備蓄所（出水郡医師会立阿久根市民病院）、大島地区血液備蓄所（九州東邦大島営業所）閉鎖。
平成30年3月31日	榮鶴義人所長退任
平成30年4月1日	竹原哲彦所長就任
平成30年6月27日	供給体制の見直しにかかる基本方針の通知。
平成30年7月31日	納品伝票の記載項目に（最終有効年月日）を追加。
平成30年9月26日	新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長。
平成30年10月26日	複数回献血クラブが献血WEB会員サービス「ラブラッド」へリニューアル。

平成30年12月12日	「日本赤十字社血液センター緊急走行要綱」の制定。
平成31年3月31日	種子島地区血液備蓄所（種子島医療センター）閉鎖。
平成31年4月25日	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
令和2年8月5日	8月5日採血分からH E V - N A Tスクリーニングの開始。
令和2年11月1日	献血者顕彰規程の改正。
令和2年9月1日	血液法の改正に伴う献血の採血基準(血圧・脈拍・体温)の変更。
令和2年9月28日	全血採血における指先穿刺による採血前検査の導入。
令和2年11月7日	新血液製剤発注システムの運用開始。（赤血球抗原情報検索可能）
令和3年2月28日	H E V - N A T未実施新鮮凍結血漿-LR（120、240、480）の供給終了。
令和3年3月1日	H E V - N A T実施新鮮凍結血漿-LR（120、240、480）の供給開始。
令和3年8月31日	(旧) 赤血球抗原情報検索システム廃止。
令和3年9月9日	献血運動推進全国大会を鹿児島県で開催予定としていたが新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となる。
令和3年10月20日	鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会から献血推進車の寄贈を受ける。
令和3年10月20日	鹿児島南洲ライオンズクラブ、鹿児島ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
令和4年3月25日	製品への添付文書の同梱廃止(3月25日製造分から)。
令和4年9月28日	アプリ版献血カード及び事前WEB問診回答の運用開始。
令和5年3月15日	3月13日採血分(3月15日製造分)から赤血球製剤の有効期限21日から28日に延長。
令和5年5月1日	献血プラザかもいけクロス・献血ルーム天文館での全献血協力者の体重測定開始。
令和5年9月25日	献血バスでの全献血協力者の体重測定開始。
令和6年1月10日	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける。
令和6年2月1日	献血同意書に血漿分画製剤の海外輸出に関する項目が追加。
令和6年2月29日	献血ルーム・天文館リニューアルオープン(同年2月8日から一時閉鎖)。
令和7年3月27日	公益財団法人 JKA から献血運搬車の寄贈を受ける。

## 16. 施設の概要



### ■献血プラザかもいけクロス（1F）

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号  
TEL 099-257-3141(血液センター代表)  
※駐車場有り

**受付時間** 《全血》9:00～12:00/13:00～17:00  
《成分》9:00～11:30/13:00～16:30

**定休日** 木曜日  
※2025年7月1日以降は水曜日となります。

### 交通

- JR/鹿児島本線鹿児島中央駅下車、市電またはバス
- 市電/郡元電停下車10分
- バス/日赤前下車徒歩1分・県庁前下車徒歩3分・市民プール前下車徒歩5分・県立野球場前下車徒歩3分



### ■献血ルーム・天文館

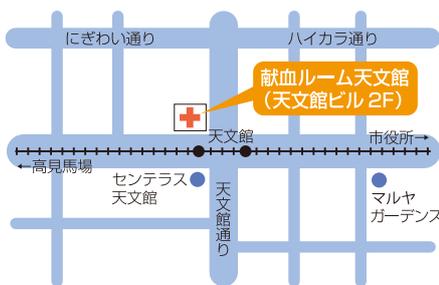
〒892-0842 鹿児島市東千石町13-16天文館ビル2F  
TEL 099-222-6511  
※いわさきパーキング、センテラスパーキング、中央公園地下セラ602（駐車券配布）

**受付時間** 《全血》9:30～13:00/14:00～17:00  
《成分》9:30～12:30/14:00～16:30

**定休日** 金曜日  
※2025年7月1日以降は火曜日となります。

### 交通

- JR/鹿児島本線鹿児島中央駅下車、市電またはバス
- 市電/天文館電停下車徒歩1分
- バス/天文館下車徒歩2分



■鹿屋出張所  
〒893-1204  
肝属郡肝付町富山1006-1  
TEL 0994-45-4199  
FAX 0994-45-4239

鹿屋市を中心に、大隅半島全域及び宮崎県串間市などの医療機関へ輸血用血液製剤を供給しています。



■川内出張所  
〒895-0072  
薩摩川内市中郷3丁目284番地  
TEL 0996-29-4199  
FAX 0996-29-4239

薩摩川内市を中心に阿久根市、出水市、さつま町、伊佐市、いちき串木野市、日置市などの医療機関へ輸血用血液製剤を供給しています。

---

---

## 事業年報

令和7年5月発行

発行 鹿児島県赤十字血液センター  
鹿児島市鴨池新町1番5号  
☎ (099) 257 - 3141

---

印刷 南日本出版株式会社  
鹿児島市錦江町8-21

---